

第 4 章

地区別構想



第4章 地区別構想

本章では、市全域のまちづくりの方向性を示した全体構想をもとに、地域の課題や特性等を考慮しながらより身近な計画とするため、市域を20地区に区分した上で地区別の方向性を定めます。

1. 地区分けの設定

地区別構想は日常生活における一定のまとまりの意識を考慮した地区割り設定とするため、以下の20地区に区分します。



▲20地区の区分図

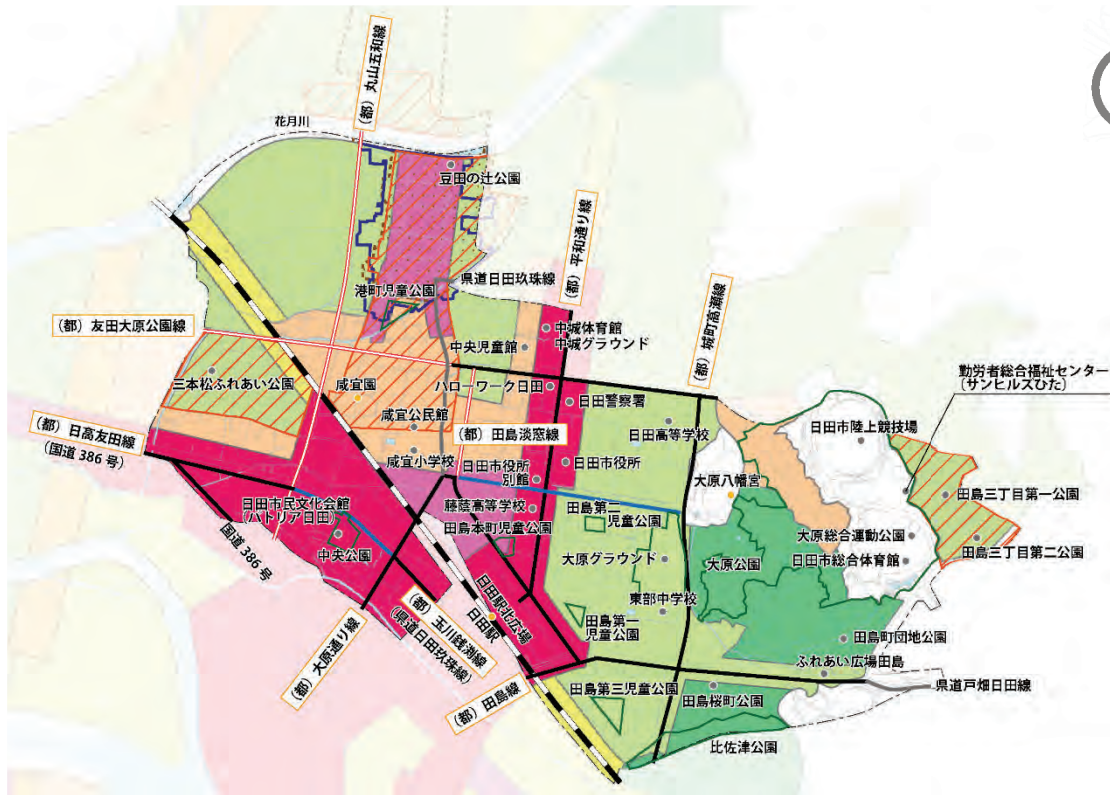
2. 地区別構想 (20地区)

① 咸宜地区

(1) 地区の概況

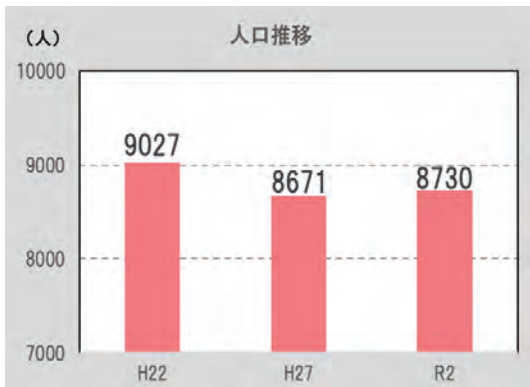
● 位置・地勢

- ◆ 市の中心部に位置し、主には緩やかな平坦地を主体としつつ、地区東部の大原周辺には穏やかな起伏のある自然な地形を有しています。
- ◆ 官公庁や各種公共施設が立地し、行政、教育・文化、医療などの都市機能と居住機能とが集積しています。また、大原八幡宮や歴史ある私塾咸宜園など、歴史と文化の趣が感じられる特性があります。

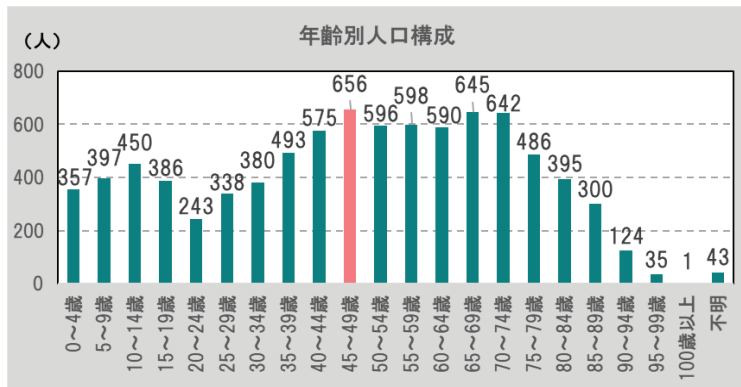


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約290人減少しています。
- ◆ 全体的に幅広い世代構成となっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2)地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や商業施設、医療施設等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 地区全体が都市計画区域内にあり、住居系や商業系の用途地域の指定があります。また、高度地区の指定を行っている地域もあります。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道386号・県道日田玖珠線・県道戸畑日田線が配置され、都市計画道路は、平和通り線や大原通り線など、8路線あります。
- ◆ 豆田地区内における、歩行者(まち歩き)等が増加しており、安全性の低下が懸念されます。



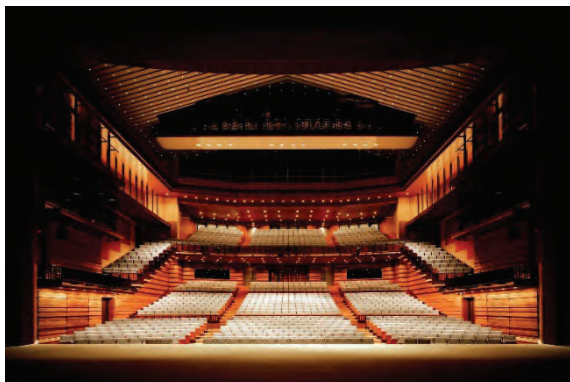
▲市道平和通り線

● 公園緑地

- ◆ 地区内には、中央公園や港町児童公園など8箇所の都市計画公園のほか、日田駅北広場や田島本町児童公園、スポーツ施設として陸上競技場や大原グラウンド等が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 地区全域において上水道・公共下水道ともに整備が完了しています。
- ◆ 花月川の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 市役所や小学校・中学校、市民の集会や芸術文化活動の拠点施設としたパトリア日田(日田市民文化会館)等の公共施設が立地しています。



▲パトリア日田(大ホール)

● 景観

- ◆ 国の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けた豆田地区は、歴史的な町並み景観が形成されています。
- ◆ 豆田地区周辺の一部には、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定区域があります。
- ◆ 幹線道路等の沿線に立地している商業施設等には、さまざまな広告物等が設置されています。



▲上町通り

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う花月川等の氾濫による浸水被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 花月川の改修による橋の架け替えが令和12年度から令和16年度にかけて予定されており、工事中的交通及び観光に大きな影響が予想されています。
- ◆ 町人文化が花開いた豆田地区を中心に、当時の賑わいを再現する「日田天領まつり」等が開催されています。また、日田駅北広場では、イベント等の開催により人々が集まる交流の場として、活用されています。



▲日田天領祭り

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進すると共に、豆田地区内の利便性・安全性の向上に努めます。

● 公園緑地

- ◆ 既存公園等の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲中央公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持に努めます。



▲咸宜小学校

● 景観

- ◆ 伝統的景観の維持形成を図るための保存事業を推進します。
- ◆ 景観形成重点地区において、商家町らしい町並みの景観形成に努めます。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等については、周辺との良好な景観形成に努めます。



▲御幸通り

● 防災

- ◆ 花月川等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。

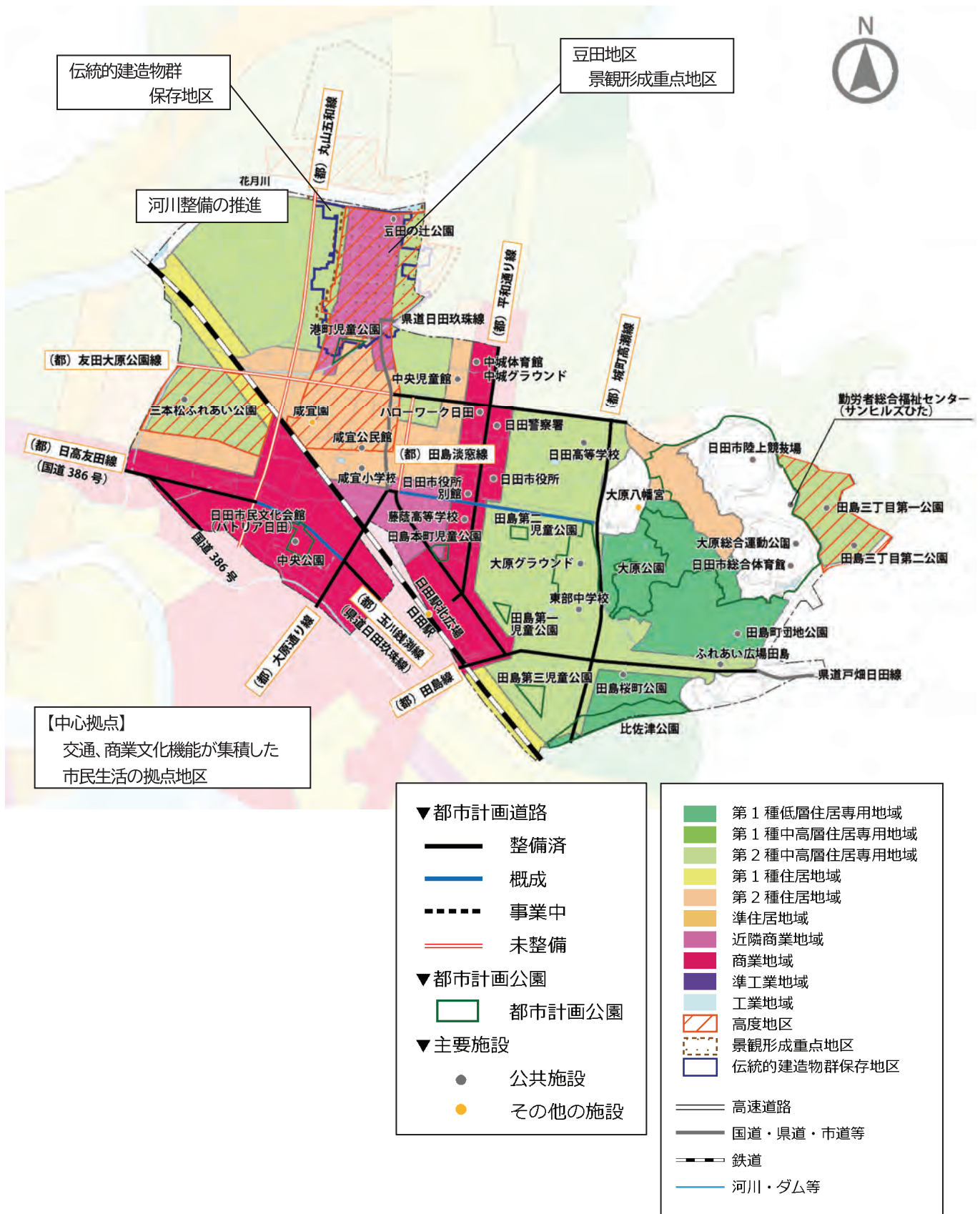
● その他

- ◆ 花月川の改修による橋の架け替え工事中の交通の安全性及び観光の活性化、並びに工事完成後の景観の向上に努めます。
- ◆ 既存施設を活用したイベントや祭りなど、交流の場としての活用を推進します。



▲日田駅北広場

咸宜地区の方針図



- ▼都市計画道路
- 整備済
 - 概成
 - - - 事業中
 - 未整備
- ▼都市計画公園
- 都市計画公園
- ▼主要施設
- 公共施設
 - その他の施設

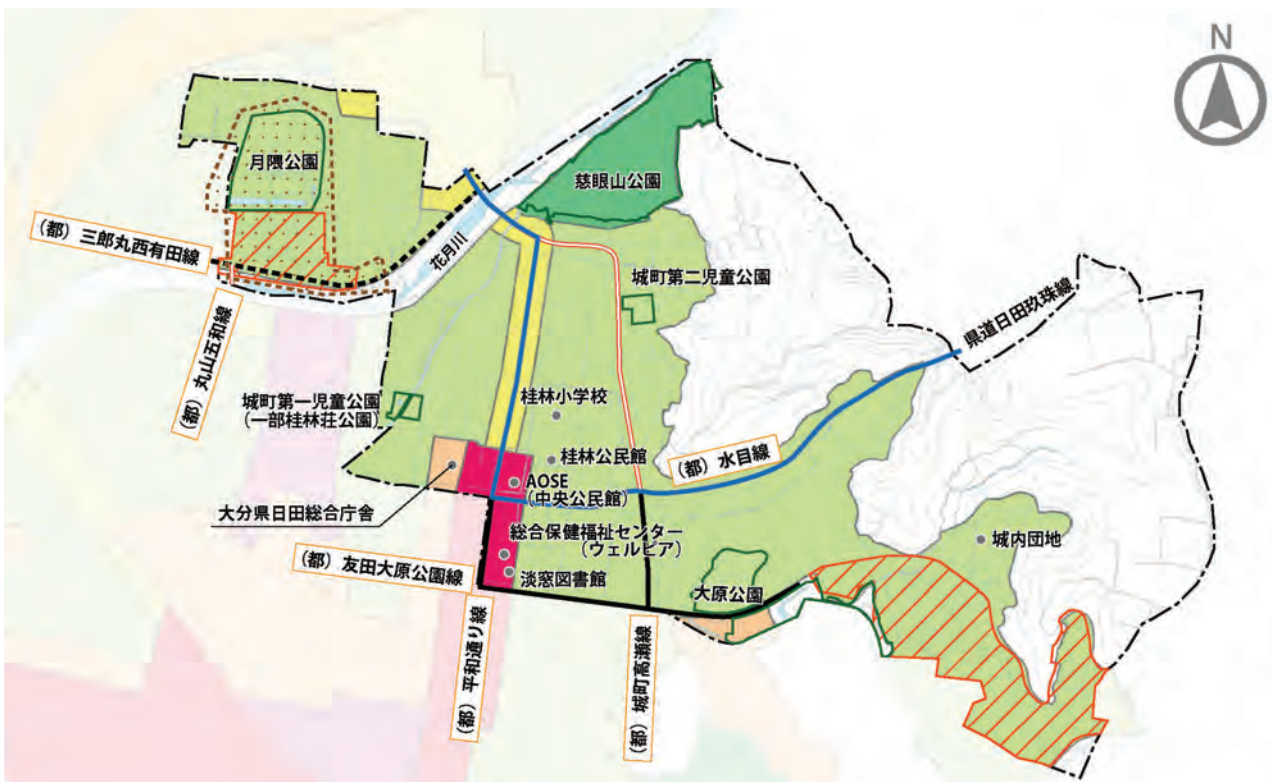
- 第1種低層住居専用地域
 - 第1種中高層住居専用地域
 - 第2種中高層住居専用地域
 - 第1種住居地域
 - 第2種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域
 - 高度地区
 - 景観形成重点地区
 - 伝統的建造物群保存地区
- 高速道路
 - 国道・県道・市道等
 - 鉄道
 - 河川・ダム等

② 桂林地区

(1) 地区の概況

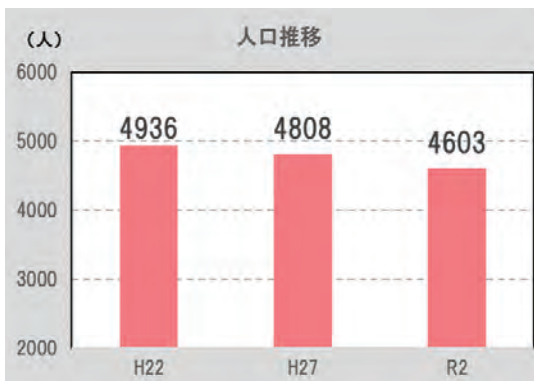
● 位置・地勢

- ◆ 市の中心部に位置し、平地と丘陵が入り混じる特徴的な地形を有し、行政機能と教育・文化施設や医療施設等が立地し、都市機能が集約しています。
- ◆ 江戸時代には、日田は幕府の直轄地(天領)となり、九州の統治拠点として月隈山に代官所が置かれ、政治や暮らしなど様々な役割を担っていました。

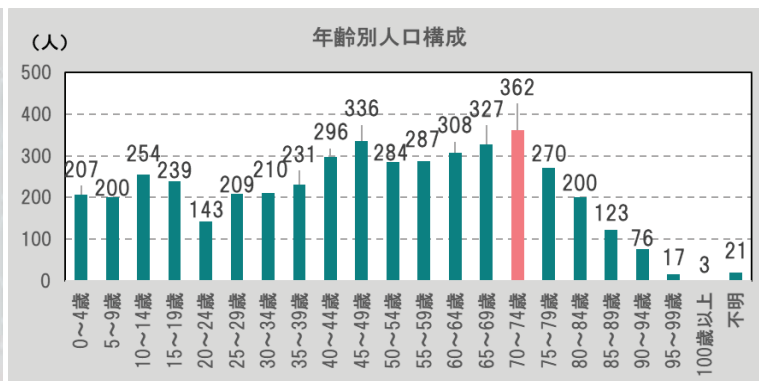


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約330人減少しています。
- ◆ 全体的に幅広い世代構成となっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や商業施設、医療施設等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 地区全体が都市計画区域内にあり、住居系や商業系の用途地域の指定がありますが、指定のない地域もあります。また、高度地区の指定を行っている地域もあります。
- ◆ 地区の一部には、まとまった山林緑地や農用地があります。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として県道玖珠線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、平和通り線や三郎丸西有田線など、6路線の区間があります。
- ◆ 都市計画道路の三郎丸西有田線は、一部に事業中の区間があります。



▲県道日田玖珠線

● 公園緑地

- ◆ 地区内には、月隈公園や慈眼山公園など、5箇所の都市計画公園のほか、桂林荘公園や城内公園などが整備されています。



▲桂林荘公園

● 都市施設

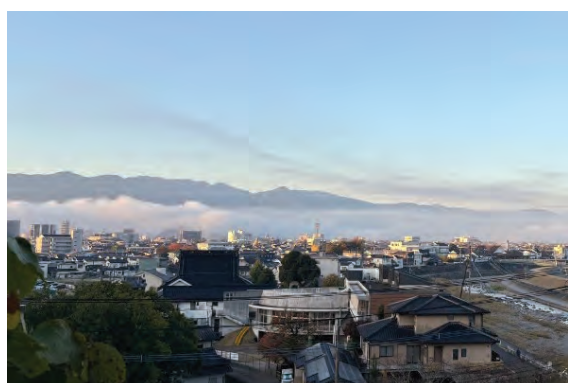
- ◆ 地区全域において上水道・公共下水道ともに整備が完了しています。
- ◆ 花月川の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や図書館、社会教育の拠点施設とした複合文化施設AOSE(中央公民館)等の公共施設が立地しています。



▲AOSE(中央公民館)

● 景観

- ◆ 豆田地区の古い町並みを活かした取組により、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定区域があります。
- ◆ 幹線道路等の沿線に立地している商業施設等には、さまざまな広告物等が設置されています。



▲慈眼山公園(展望所からの眺望)

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う花月川等の氾濫による浸水被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、計画的な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交 通 体 系

- ◆ 都市計画道路三郎丸西有田線の事業区間における早期完成に向けた取組を促進します。
- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



▲都市計画道路 三郎丸西有田線(事業中)

● 公 園 緑 地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲月隈公園

● 都 市 施 設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持に努めます。



▲淡窓図書館

● 景 観

- ◆ 景観形成重点地区において、城下町らしい町並みの景観形成に努めます。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等については、周辺との良好な景観形成に努めます。

● 防 災

- ◆ 花月川等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。



▲桂林公民館

桂林地区の方針図



【中心拠点】
交通、商業文化機能が集積した
市民生活の拠点地区

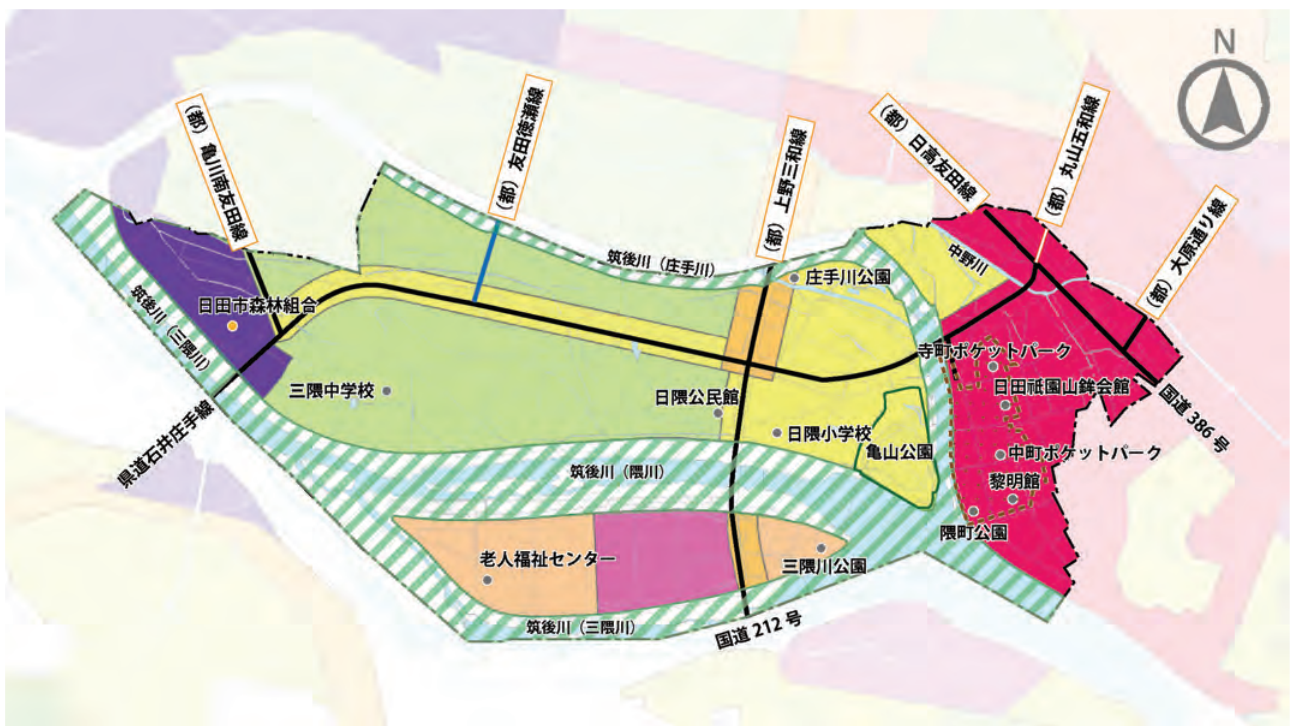
▼都市計画道路	第1種低層住居専用地域
— 整備済	第1種中高層住居専用地域
— 概成	第2種中高層住居専用地域
- - - 事業中	第1種住居地域
— 未整備	第2種住居地域
▼都市計画公園	準住居地域
□ 都市計画公園	近隣商業地域
▼主要施設	商業地域
● 公共施設	準工業地域
● その他の施設	工業地域
	高度地区
	景観形成重点地区
	— 高速道路
	— 国道・県道・市道等
	— 鉄道
	— 河川・ダム等

③ 日隈地区

(1) 地区の概況

● 位置・地勢

- ◆ 市の中心部に位置し、筑後川(三隈川)や隈川、庄手川に囲まれた中洲状の平地と、独立丘陵(日隈山)を有する特徴的な地形にあります。
- ◆ 歴史的な町並みとともに、筑後川(三隈川)を活用した筏流しによる材木流通が行われ、町人文化と地域産業が栄えました。

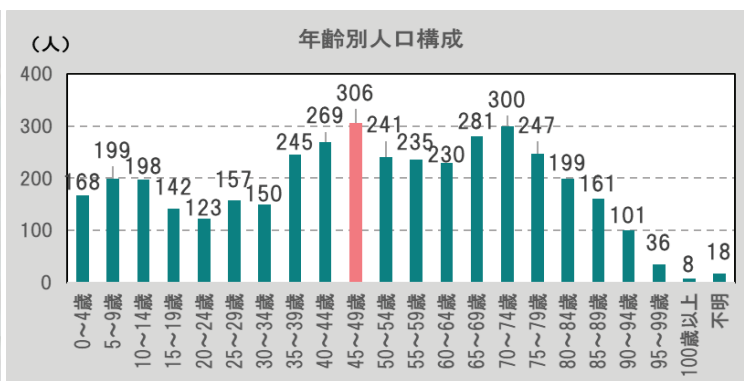


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約320人減少しています。
- ◆ 全体的に幅広い世代構成となっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や幹線道路の周辺には、商業施設や医療施設、林業関係施設等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 地区全体が都市計画区域内にあり、住居系・商業系・工業系の用途地域の指定が行われています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道212号・国道386号・県道石井庄手線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、上野三和線や丸山五和線など、6路線の区間があります。



▲国道212号

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園の亀山公園のほか、庄手川公園や隈町公園などが整備されています。



▲隈町公園

● 都市施設

- ◆ 地区全体において上水道・公共下水道ともに整備が完了しています。
- ◆ 筑後川(三隈川)等の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や中学校、公民館等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 隈地区には、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定区域があります。
- ◆ 筑後川(三隈川)沿いは、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 商業施設等には、さまざまな広告物等が設置されています。



▲庄手川沿いの町並み景観

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫による浸水被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 山鉾が巡行する曳山行事である日田祇園や1万発を超える花火大会など、多彩な観光資源を有しています。



▲花火大会(川開き観光祭)

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



▲ 県道石井庄手線

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲ 亀山公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持に努めます。

● 景観

- ◆ 景観形成重点地区において、限らしい町並みの景観形成に努めます。
- ◆ “水郷日田”の自然景観の保全を推進します。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等については、周辺との良好な景観形成に努めます。



▲ 筑後川(三隈川)

● 防災

- ◆ 筑後川(三隈川)等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。

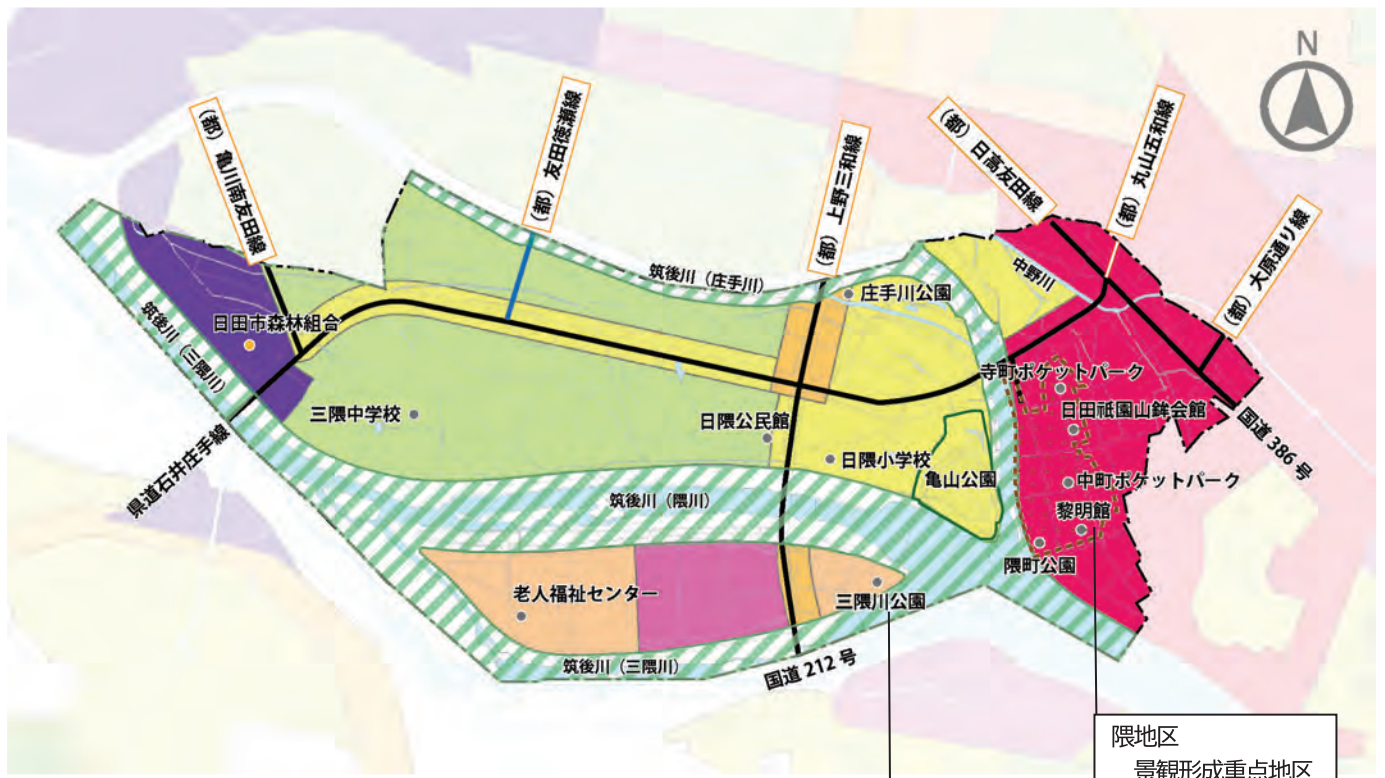
● その他

- ◆ 水辺空間や地域に根差した伝統文化を活かし、にぎわいと魅力の創出につながる祭礼・イベントの推進を図ります。



▲ 日田祇園山鉾会館(日田祇園)

日隈地区の方針図



- ▼都市計画道路
 - 整備済
 - 概成
 - - - 事業中
 - 未整備
- ▼都市計画公園
 - 都市計画公園
- ▼主要施設
 - 公共施設
 - その他の施設

- 第1種低層住居専用地域
- 第1種中高層住居専用地域
- 第2種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 高度地区
- 国定公園
- 景観形成重点地区
- 高速道路
- 国道・県道・市道等
- 鉄道
- 河川・ダム等

国定公園の
自然景観の保全

隈地区
景観形成重点地区

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ JR日田駅前地区は、土地区画整理事業により、駅前広場や街路、商店街や住宅地等の整備により市街地が形成されています。
- ◆ 地区全体が都市計画区域内にあり、住居系と商業系の用途地域が指定されています。

● 交通体系

- ◆ JR久大本線と日田バスターミナル等が連動し、公共交通ネットワークの拠点として機能しています。
- ◆ 主要な幹線道路として、国道386号・県道日田鹿本線・県道日田玖珠線・県道戸畑日田線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、日高友田線や日田駅前通り線など、6路線の区間があります。



▲市道 駅前隈線

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園は、東町児童公園・南元町児童公園・日田駅北公園・竹田公園があります。
- ◆ 公園は、本町第一公園や本町第二公園が整備されています。



▲竹田公園(せせらぎ水路)

● 都市施設

- ◆ 地区全体が上水道・公共下水道ともに整備が完了しています。
- ◆ 筑後川(三隈川)の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館等の公共施設が立地しています。



▲竹田浄水場

● 景観

- ◆ 筑後川(三隈川)に沿って、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 大規模な建築物や幹線道路沿線の商業施設等には、多くの広告物等が設置されています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫による浸水被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 日田駅南広場の整備により、イベントや祭り、交流の場として活用されています。



▲日田駅南広場

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ コミュニティバス等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲ひたはしり号

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲竹田公園(インクルーシブ遊具)

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。

- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持に努めます。

● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園と背景となる山なみが一体となった自然景観の保全を推進します。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等、周辺との良好な景観形成に努めます。



▲筑後川(三隈川)

● 防災

- ◆ 筑後川(三隈川)等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。

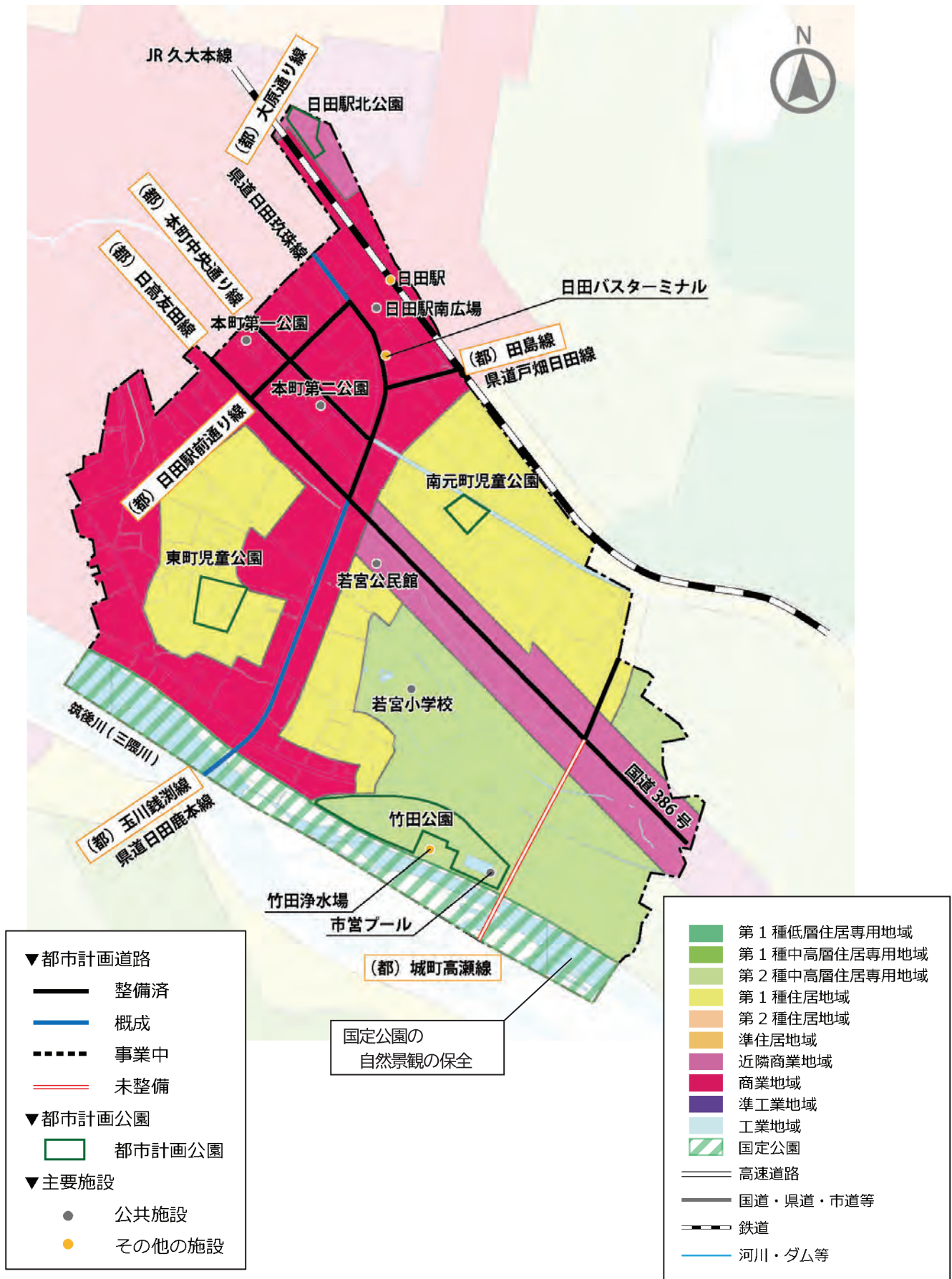
● その他

- ◆ 既存施設を活用したイベントや祭りなどの交流の場として活用を推進します。



▲日田駅南広場

若宮地区の方針図



⑤ 三芳地区

(1) 地区の概況

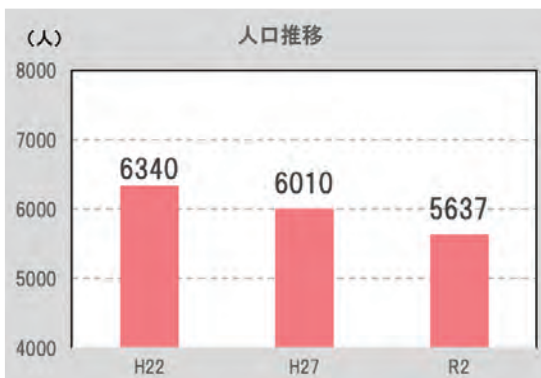
● 位置・地勢

- ◆ 市の東部に位置し、丘陵台地と平坦地が入り混じる地形に、広大な農用地と集落が形成されています。
- ◆ JR久大本線の豊後三芳駅や国道210号・国道386号周辺には、住宅地や商業施設、公共施設等が立地しています。

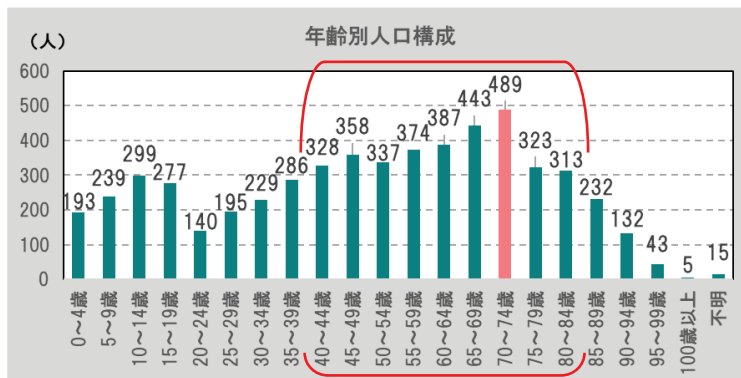


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約700人減少しています。
- ◆ 40歳代から80歳代前半の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や商業施設、工場等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系や商業系の用途地域の指定があり、大半は指定のない地域になります。また、高度地区の指定を行っている地域もあります。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地や農用地が広がっています。

● 交通体系

- ◆ JR豊後三芳駅は、市中心部や周辺地域、隣接する都市を結ぶ交通ルートを形成しています。
- ◆ 主要な幹線道路として国道210号・国道386号・県道豊後三芳停車場線・県道戸畑日田線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、日高友田線や日高五和線など、4路線の区間があります。
- ◆ 山間集落から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲JR豊後三芳駅

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園は、比佐津公園、三芳児童公園、小淵児童公園があります。
- ◆ 公園は、天領大橋公園等が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道が整備されていますが、一部地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 玖珠川等の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館等の公共施設が立地しています。



▲三芳小学校

● 景観

- ◆ 日田バイパス周辺は、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定を行っています。
- ◆ 玖珠川等に沿って耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。

● 防災

- ◆ 玖珠川や求来里川等の氾濫や土砂災害により、家屋等への被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



▲玖珠川と大山川との合流点

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植林等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲県道戸畑日田線

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能維持に努めます。



▲小淵児童公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化の向上に努め、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持に努めます。



▲三芳公民館

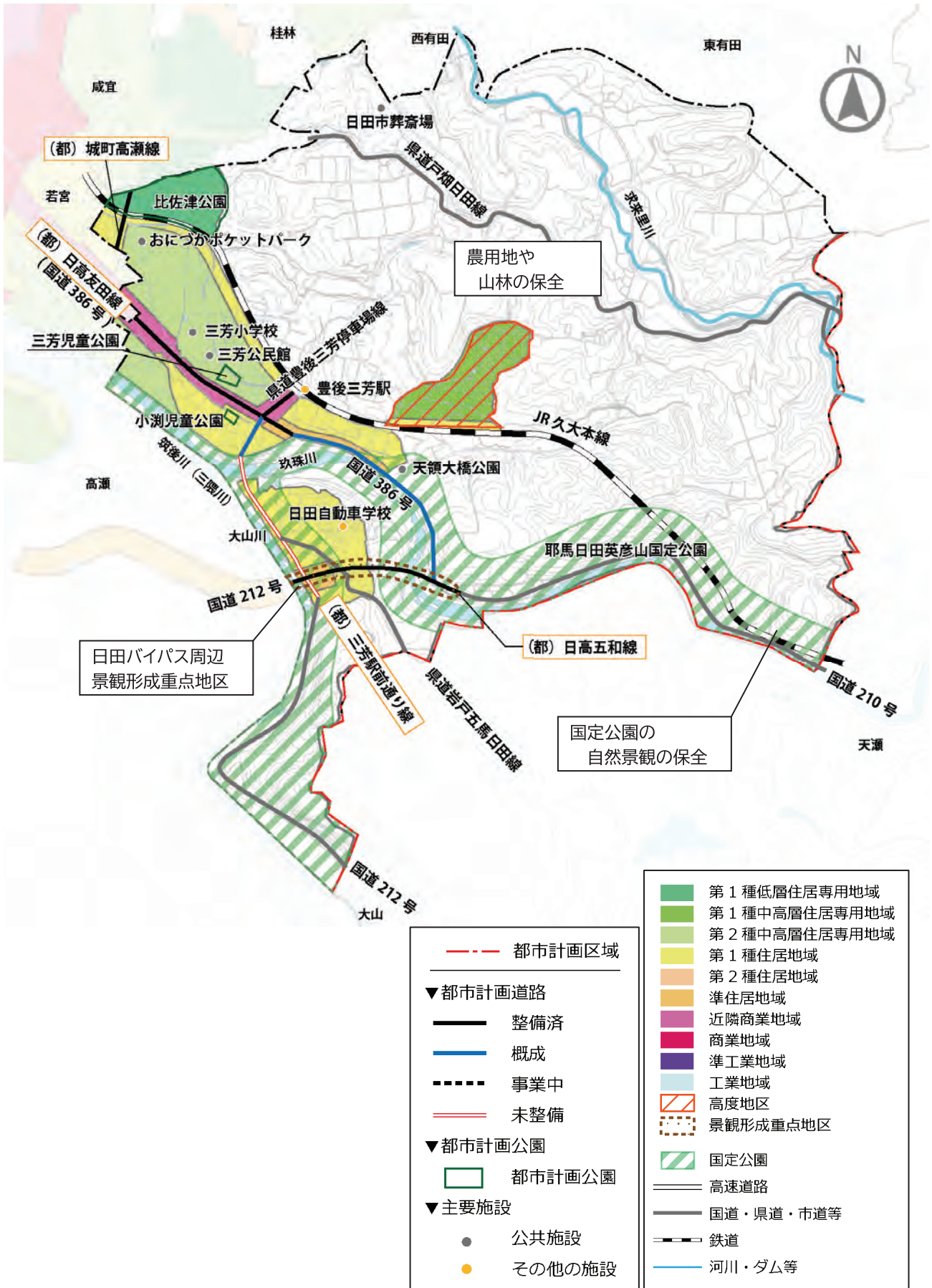
● 景観

- ◆ 日田バイパス周辺は、沿道の良好な景観形成に努めます。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園等、山林緑地等の自然景観の保全を推進します。

● 防災

- ◆ 玖珠川や求来里川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。

三芳地区の方針図

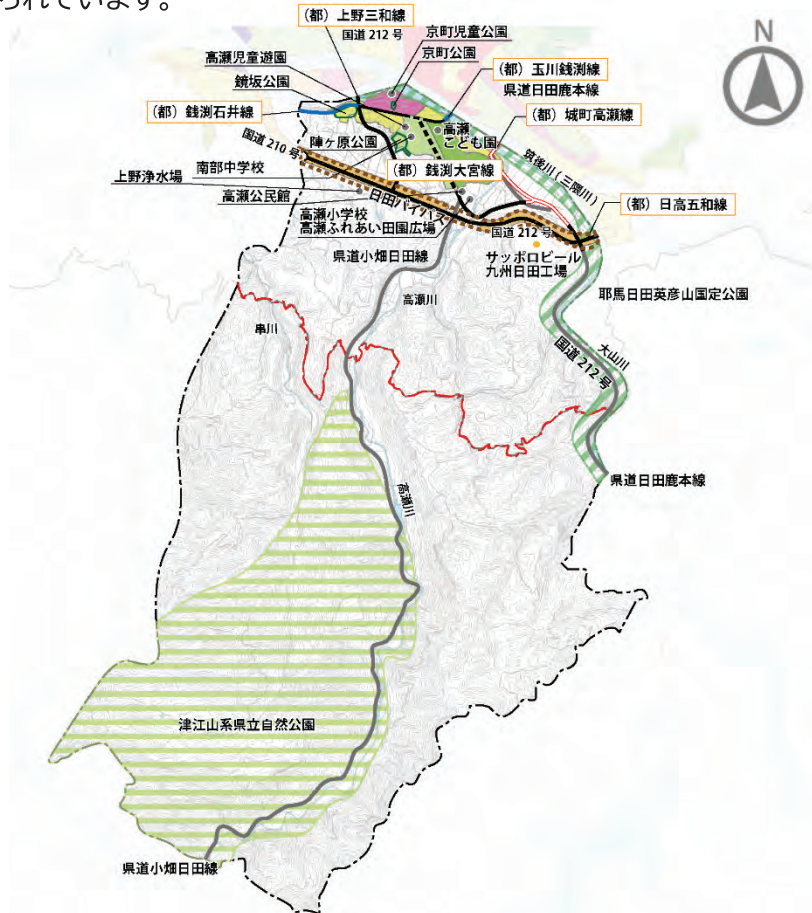


⑥ 高瀬地区

(1) 地区の概況

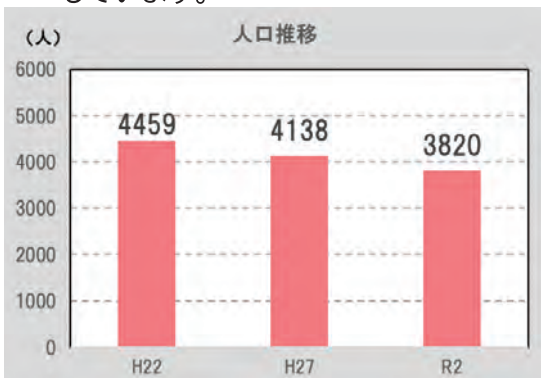
● 位置・地勢

- ◆ 市の中心部から南に延びるように位置し、筑後川(三隈川)沿いの平地は広大な農用地と集落が形成され、丘陵地の高瀬台地には住宅地や工場、公共施設等が立地しています。
- ◆ 国道210号・国道212号日田バイパスは、緑に囲まれた良好な自然の中にあり、市の中心市街地への交通混雑の緩和が図られています。

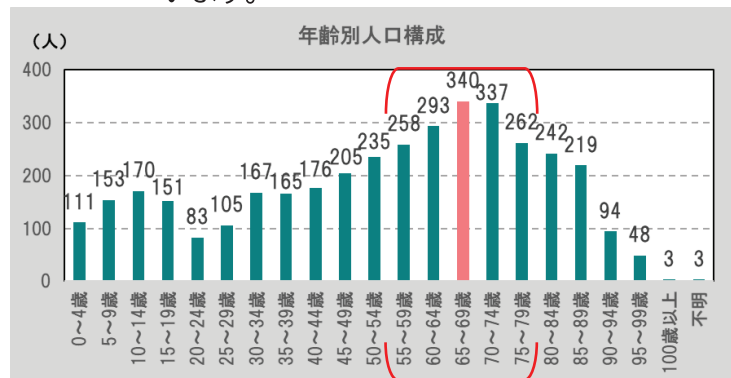


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約630人減少しています。
- ◆ 50歳代後半から70歳代が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地 利 用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や商業施設、工場等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系や商業系の用途地域の指定があり、大半は指定のない地域になります。
- ◆ 山林緑地や農用地が広がり、自然豊かな環境の中に集落があります。



▲サッポロビール九州日田工場

● 交 通 体 系

- ◆ 主要な幹線道路として日田バイパス(国道210号・国道212号)・県道日田鹿本線・県道小畑日田線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、上野三和線や銭淵大宮線など、6路線の区間があります。
- ◆ 山間集落から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。

● 公 園 緑 地

- ◆ 都市計画公園は、京町公園、鏡坂公園、陣ヶ原公園があります。
- ◆ 高瀬ふれあい田園広場や高瀬児童遊園等が整備されています。



▲陣ヶ原公園

● 都 市 施 設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 高瀬川や串川等の増水により、堤防や護岸、道路や架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館等の公共施設が立地しています。



▲上野浄水場

● 景 観

- ◆ 日田バイパス周辺は、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定を行っています。
- ◆ 筑後川等に沿って耶馬日田英彦山国定公園の指定、南部の山林は津江山系県立自然公園に指定されています。



▲高瀬地区を望む

● 防 災

- ◆ 高瀬川や串川等の氾濫や土砂災害により、山間集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植林等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交 通 体 系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 都市計画道路銭淵大宮線の事業区間における早期完成に向けた取組を促進します。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲都市計画道路 銭淵大宮線(事業中)

● 公 園 緑 地

- ◆ 既存公園等の適正な管理・保全による機能維持に努めます。



▲鏡坂公園

● 都 市 施 設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化の向上に努め、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲高瀬公民館

● 景 観

- ◆ 日田バイパス周辺は、沿道の良好な景観形成に努めます。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園等、山林緑地等の自然景観の保全を推進します。

● 防 災

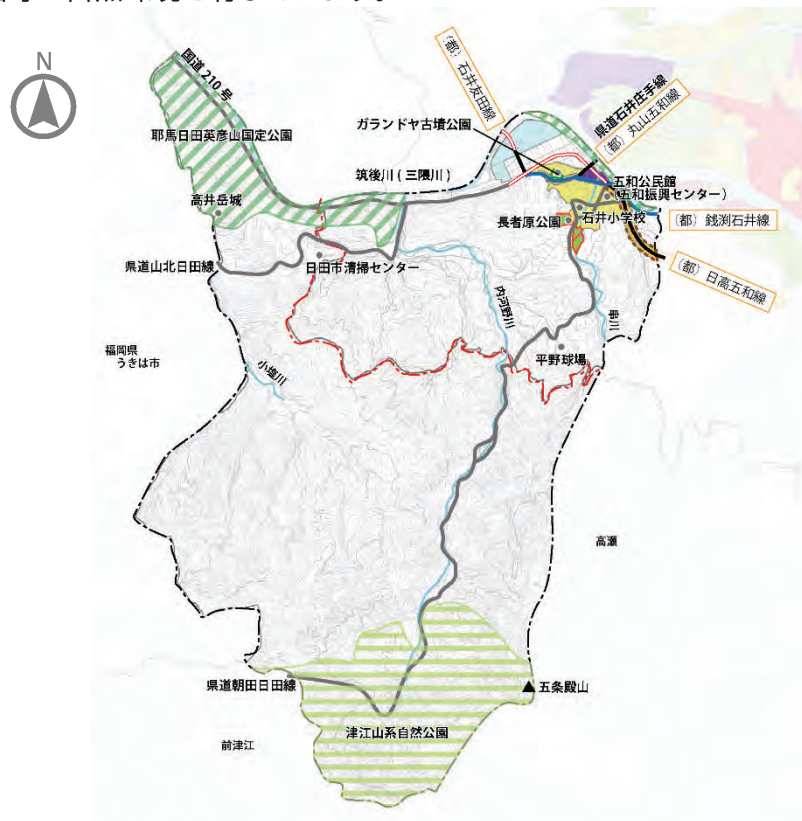
- ◆ 高瀬川や串川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

⑦ 五和地区

(1) 地区の概況

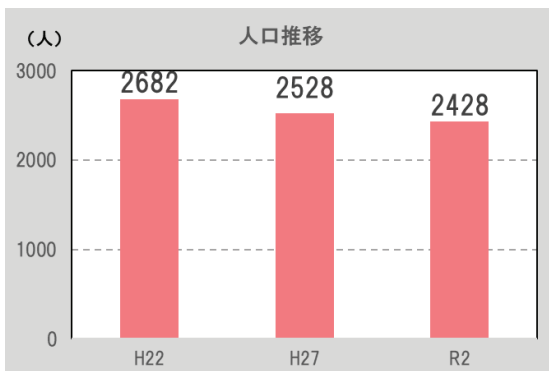
● 位置・地勢

- ◆ 市の西部に位置し、福岡県うきは市と隣接しています。
- ◆ 国道210号周辺には、石井工業団地が形成され、ガランドヤ古墳に代表される文化資源等を有しています。
- ◆ 地区を流れる内河野川や串川は筑後川(三隈川)へと合流し、耶馬日田英彦山国定公園や南部には津江山系県立公園等の自然環境を有しています。

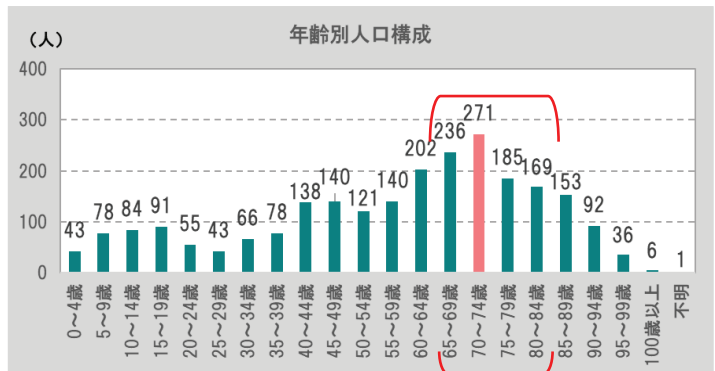


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約250人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 国道210号沿いに商業施設や医療施設等が立地し、長者原団地等の住宅地のほか、石井工業団地など土地利用が図られています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系や工業系の用途地域の指定があり、大半は指定のない地域になります。また、高度地区の指定を行っている地域もあります。
- ◆ 南部では、山林緑地や農用地が広がり、自然豊かな環境の中に集落があります。



▲石井工業団地

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道210号、県道石井庄手線、県道朝田日田線、県道山北日田線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、石井友田線や日高五和線など、4路線の区間があります。
- ◆ 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園は、ガランドヤ古墳公園が整備されています。
- ◆ 公園は、長者原公園等が整備されています。



▲ガランドヤ古墳公園

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 内河野川や串川等の増水により、堤防や護岸、道路や架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館(振興センター)等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 日田バイパス周辺は、日田市景観条例に基づく「景観形成重点地区」の指定を行っています。
- ◆ 一部に耶馬日田英彦山国定公園の指定、南部の山林緑地は津江山系県立自然公園に指定されています。
- ◆ 国道210号の沿線に立地している商業施設等には、多くの広告物等が設置されています。

● 防災

- ◆ 内河野川や串川等の氾濫や土砂災害により、山間集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ ガランドヤ古墳公園では、古墳の公開を行うなど、文化資源を活用した取組が行われています。



▲ガランドヤ古墳(1号墳石室内部)

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲県道朝田日田線

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲長者原公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化向上に努め、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲五和公民館(五和振興センター)

● 景観

- ◆ 国道212号日田バイパス周辺は、沿道の良好な景観形成に努めます。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園等、山林緑地等の自然環境の保全を推進します。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等、周辺との良好な景観形成に努めます。

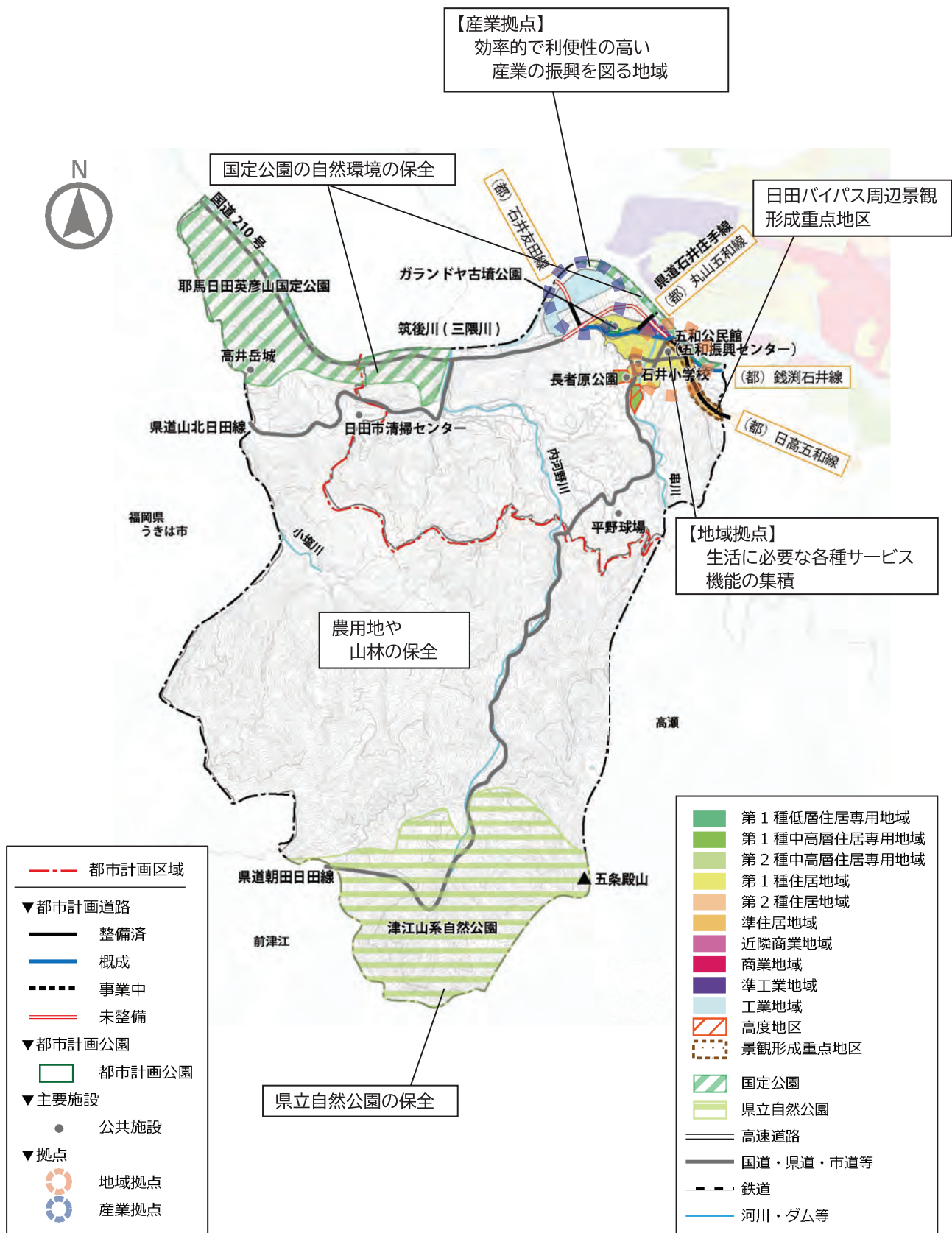
● 防災

- ◆ 内河野川や串川等の氾濫等に対する河川整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- ◆ ガランドや古墳公園等の文化資源は、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、地域交流の場としての活用を図ります。
- ◆ 石井工業団地では、工業地としての有効な土地利用を図り、物流や連絡道路の機能も含めた産業拠点としての振興に努めます。

五和地区の方針図

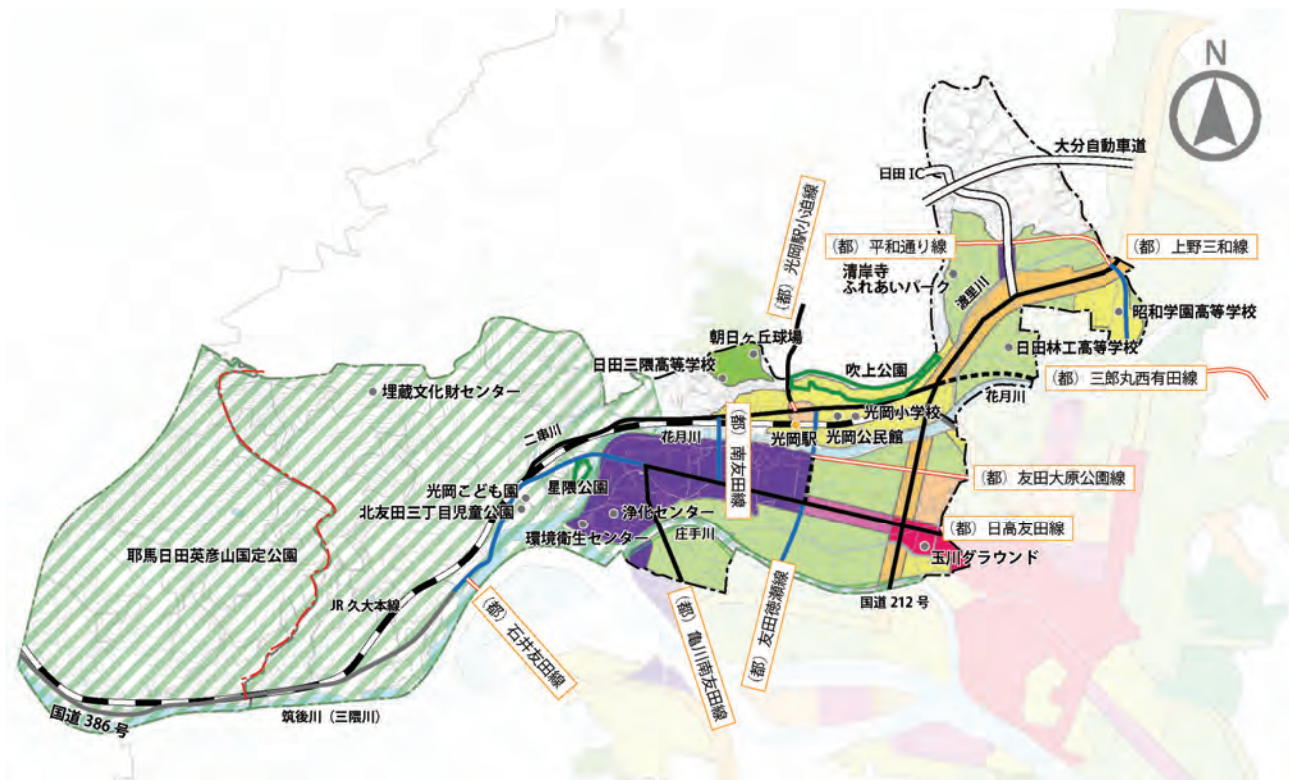


⑧ 光岡地区

(1) 地区の概況

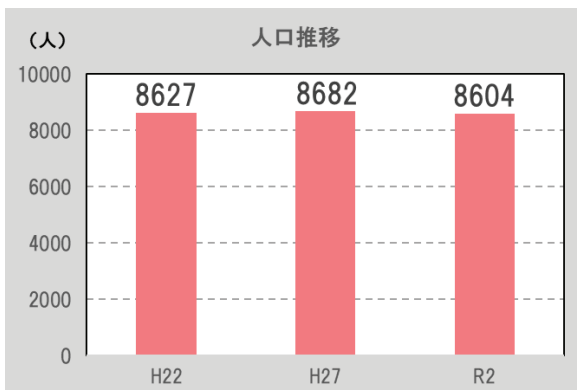
● 位置・地勢

- ◆ 市の中心部から西に延びるように位置し、全体的に平坦な土地が多く、大分自動車道日田ICやJR久大本線の光岡駅、国道212号や386号等が整備されています。
- ◆ 地区を流れる花月川や二串川は筑後川(三隈川)へと合流し、地区西部には、耶馬日田英彦山国立公園の指定を受けた山林等の自然環境を有しています。

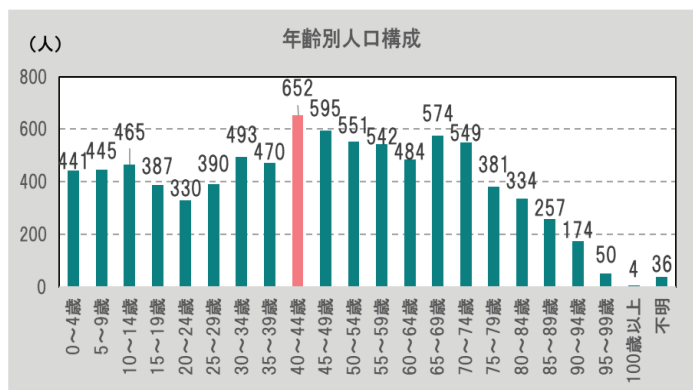


● 人口の動向

- ◆ 平成22年から比較して、ほぼ横ばいです。
- ◆ 全体的に幅広い世代構成となっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や国道212号・国道386号沿いには、商業施設や工場等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 地区の大半は、都市計画区域に指定され、住居系・商業系・工業系の用途地域が指定されています。
- ◆ 地区の一部に、農用地や山林緑地が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 大分自動車日田ICやJR久大本線による公共交通ネットワークが形成されています。
- ◆ 「平成29年7月九州北部豪雨」により被災したJR日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間について、令和5年8月からBRT(バス高速輸送システム)が運行されています。
- ◆ 主要な幹線道路として国道212号・国道386号が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、友田徳瀬線や三郎丸西有田線を含む、10路線の区間があります。
- ◆ 都市計画道路の友田徳瀬線と三郎丸西有田線は、一部に事業中の区間があります。



▲都市計画道路 友田徳瀬線(事業中)

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園は、星隈公園と吹上公園があります。
- ◆ 清岸寺ふれあいパークや玉川グラウンド等が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 花月川等の増水により、堤防や護岸、道路、架橋等の損壊が懸念されます。



▲北友田中継ポンプ場

● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や周辺の山林緑地が豊かな自然景観を形成しています。
- ◆ 幹線道路等の沿線に立地している商業施設等には、多くの広告物等が設置されています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う花月川等の氾濫や土砂災害により、家屋等への被害が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



▲筑後川(三隈川)

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 都市計画道路三郎丸西有田線の事業区間における早期完成に向けた取組を促進します。
- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ BRT等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



▲都市計画道路 三郎丸西有田線(事業中)

● 公園緑地

- ◆ 既存公園等の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲清岸寺ふれあいパーク

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化の向上に努め、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。



▲花月川

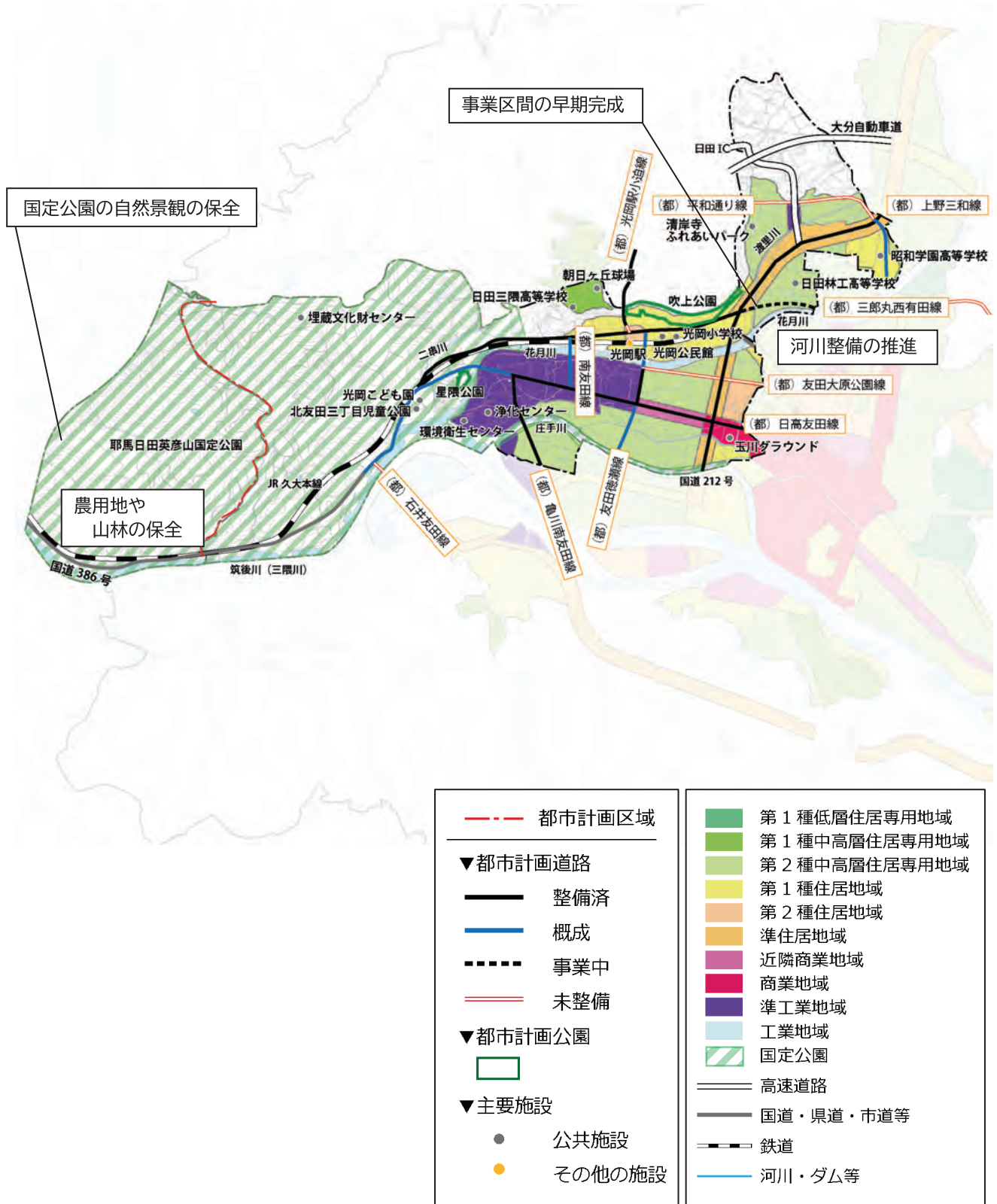
● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や山林緑地等の自然景観の保全に努めます。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等について、周辺との良好な景観形成に努めます。

● 防災

- ◆ 花月川や二串川等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による二次災害の回避に努めます。

光岡地区の方針図



⑨ 朝日地区

(1) 地区の概況

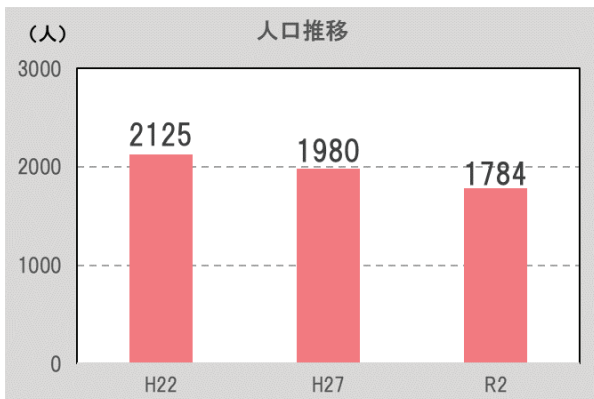
● 位置・地勢

- ◆ 山田原や吹上台地等の丘陵地や整備された広大な農用地を有し、地区南西部の北方岳周辺には耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けている山林緑地が広がっています。また、地区の中央を流れる二串川が南北を縦断しています。
- ◆ 地区の南部を横断している大分自動車道が東西に向かって延びており、日田市の玄関口となる日田ICにつながっています。

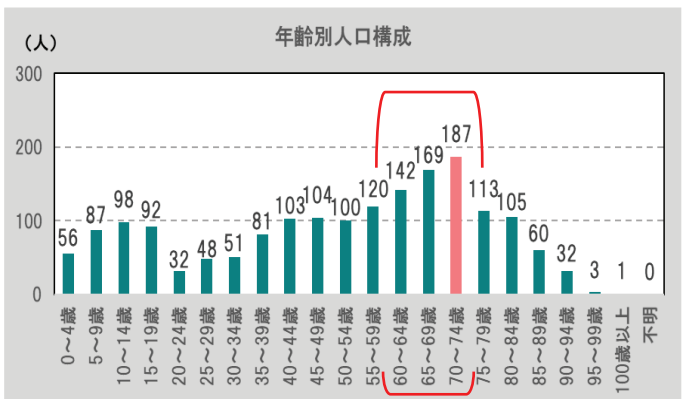


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約340人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代前半の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 朝日ヶ丘団地や宅地分譲による住宅地、工場等を立地するための土地利用が図られています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系の用途地域の指定があり、大半は指定のない地域になります。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地や農用地が広がっています。



▲農用地の広がり

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として、県道大鶴熊取線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、光岡小迫線の区間があり地区内の整備が完了しています。



▲都市計画道路 光岡駅小迫線

● 公園緑地

- ◆ 都市計画公園は、一部に吹上公園の範囲があり、公園は、萩尾公園等が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 二串川等の増水により、堤防や水路の損壊による家屋の浸水被害が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館等の公共施設が立地しています。
- ◆ 一般廃棄物処理(仮称:新清掃センター)の稼働に向けた整備を行っています。

● 景観

- ◆ 南西部の山林緑地は、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 基盤整備された農用地や集落地と、背景となる山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う二串川等の氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



▲急傾斜地対策

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ コミュニティバス等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲市道 朝日ヶ丘線

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲萩尾公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化の向上に努め、処理区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。
- ◆ 一般廃棄物処理施設(仮称:新清掃センター)の整備を推進します。



▲新清掃センター(整備中)

● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全を推進します。
- ◆ 基盤整備された農用地や集落地等と背景となる山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

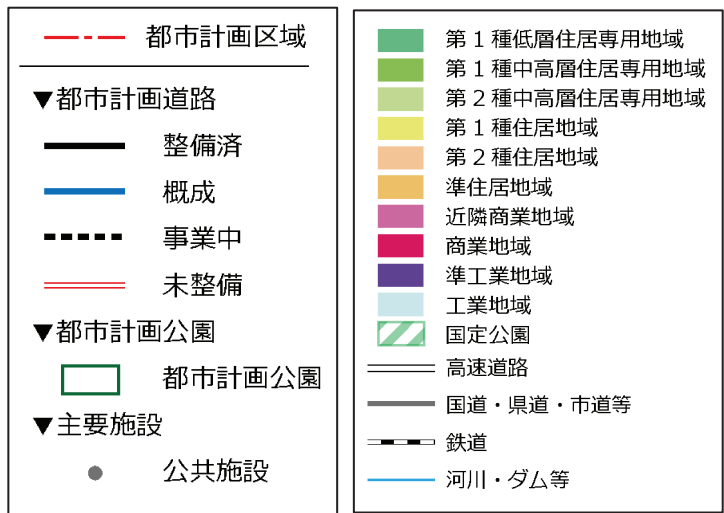
● 防災

- ◆ 二串川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

朝日地区の方針図



国定公園の自然景観の保全

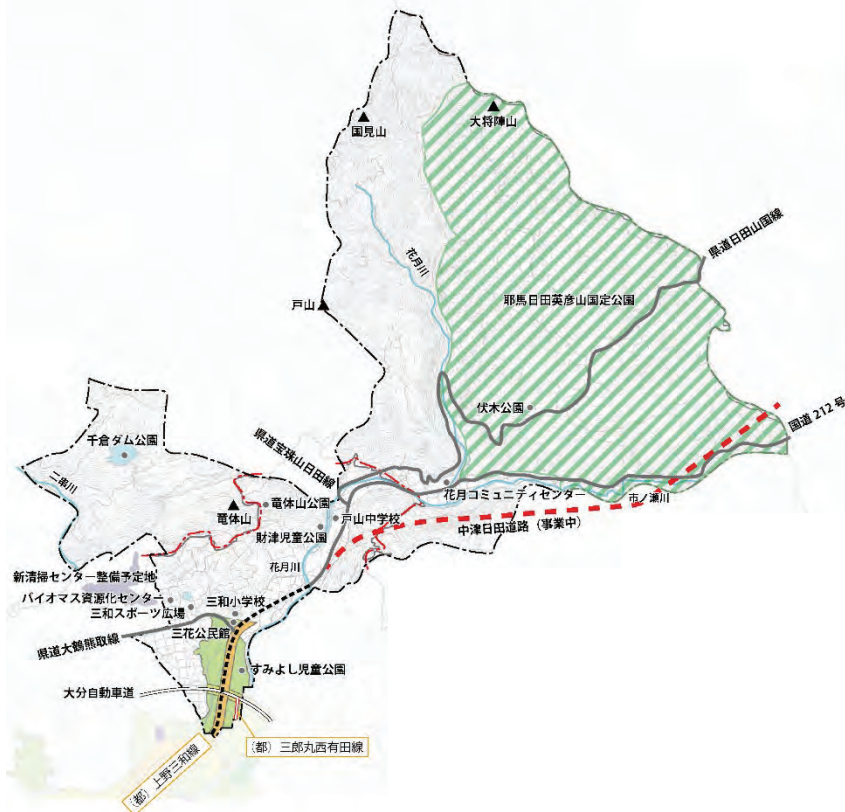


⑩ 三花地区

(1) 地区の概況

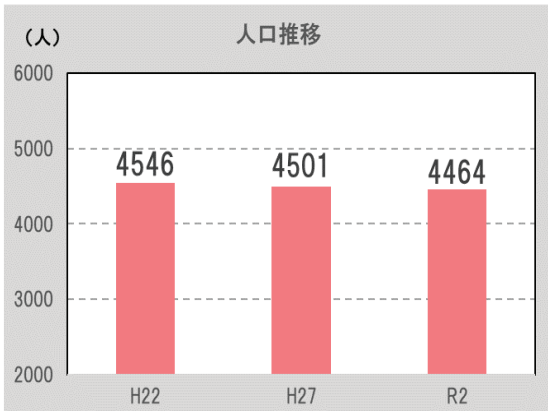
● 位置・地勢

- ◆ 市の北東部に位置し、中津市と隣接しています。
- ◆ 小野川と市ノ瀬川等が合流して、形成された花月川が中央部を横断しており、それに沿うように国道212号が通過しています。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園の区域や豊かな自然資源を活用した公園があります。

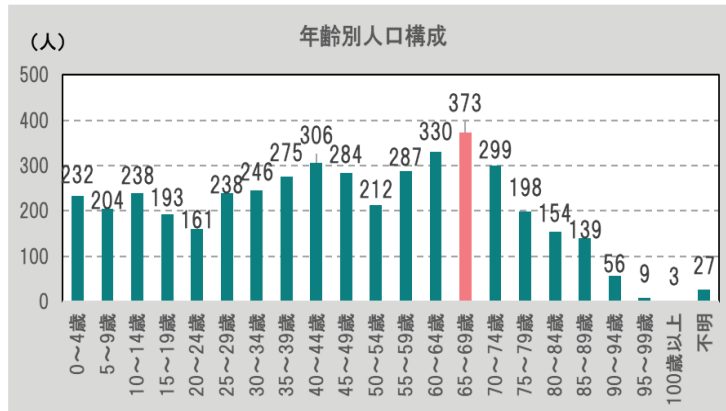


● 人口の動向

- ◆ 平成22年から比較して、ほぼ横ばいとなっています。
- ◆ 全体的に幅広い世代構成となっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地が整備されているほか、国道212号沿いには、商業施設や医療施設等が立地しています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系の用途地域の指定があり、大半は指定のない地域になります。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地や農用地が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 地域高規格道路「中津日田道路」の早期完成に向けた取組を展開しています。
- ◆ 主要な幹線道路として国道212号・県道大鶴熊取線・県道宝珠山日田線・県道日田山国線が配置され、国道212号は4車線化事業が行なわれています。
- ◆ 都市計画道路は、上野三和線と三郎丸西有田線の2路線の区間があります。



▲国道212号(事業中)

● 公園緑地

- ◆ 竜体山公園や伏木公園などのほか、三和スポーツ広場が整備されています。



▲伏木公園

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 花月川等の増水に伴う堤防や護岸、道路、架橋の損壊による家屋の浸水被害が懸念されます。

● 景観

- ◆ 地区東部の山林緑地は、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 国道212号沿線に立地した商業施設等には、多くの広告物等が設置されています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う花月川等の氾濫や土砂災害により、山間地集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。



▲三花公民館

● その他

- ◆ 歴史国道「日田往還」の一部の「石坂石畳道」は、江戸時代の道路整備の姿を残す貴重な文化資源であり、大分県の指定を受けています。

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 地域高規格道路「中津日田道路」の早期完成に向けた取組を促進します。
- ◆ 国道212号は、市道葛原線との交差点付近までを拡幅する4車線化事業を促進します。
- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



▲中津日田道路(5号トンネル)

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲竜体山公園(展望所からの眺望)

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化の向上に努め、処理区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫する恐れのある河川の改修を推進し、雨水幹線等の計画的な整備に努めます。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。



▲財津雨水幹線(工事状況)

● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全を推進します。
- ◆ 主要な幹線道路等の沿道における広告物等については、周辺との良好な景観開成に努めます。

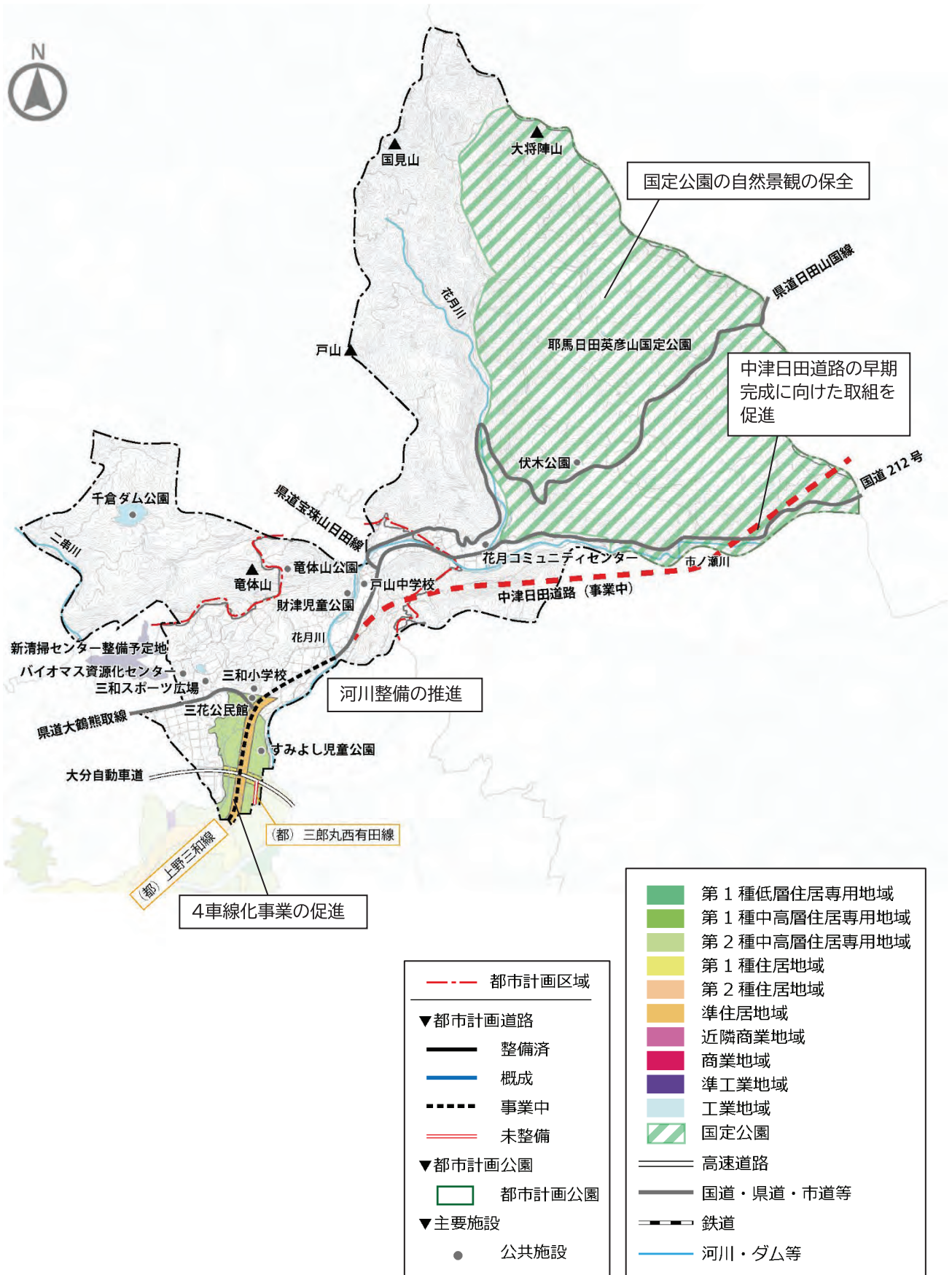
● 防災

- ◆ 花月川等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その他

- ◆ 文化資源となる史跡や良好な景観を有し、地域のシンボルとなるような建築物の適正な維持・保全を推進します。
- ◆ 中津日田道路の開通により、広域的な交通アクセスの向上が期待されることから、地域の優位性を生かした企業誘致を推進します。

三花地区の方針図



11 西有田地区

(1) 地区の概況

● 位置・地勢

- ◆ 市の北東部に位置し、中津市と隣接しています。
- ◆ 地区の大部分は山林緑地が占めており、東部には耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。また、地区を流れる有田川等は花月川へと合流しています。
- ◆ 工業地や宅地開発、ゴルフ場等の大規模な土地利用が図られています。

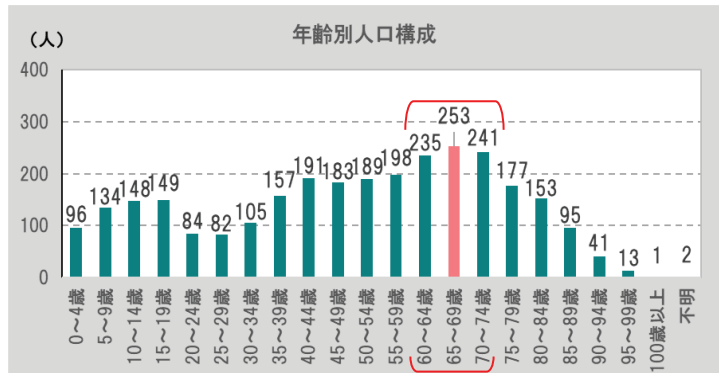


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約210人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代前半の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 宅地分譲による住宅地や工場・物流施設等、ゴルフ場等の大規模な土地利用が図られています。
- ◆ 都市計画区域内は、住居系用途地域の指定が一部あり、大半は指定のない地域になります。
- ◆ 地区の大部分は、山林林緑地や農用地が広がっています。



▲工場等集積地

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として県道日田玖珠線、県道西有田豆田線が配置されています。
- ◆ 都市計画道路は、三郎丸西有田線の区間があります。
- ◆ 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲県道日田玖珠線

● 公園緑地

- ◆ 公園は、秋山町しぜん公園などが整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 公共下水道が整備されていますが、一部の地域は合併処理浄化槽による排水処理となっています。
- ◆ 花月川や有田川等の増水により、堤防や護岸、道路や架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 中学校や公民館等の公共施設が立地しています。



▲北部中学校

● 景観

- ◆ 地区東部の山林緑地が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う花月川等の氾濫や土砂災害により、山間集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



▲花月川への合流点

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。



▲山林緑地の広がり

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能維持に努めます。



▲市道豆田西有田線

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、下水道の水洗化向上に努め、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。また、過去に浸水被害実績があった箇所については、雨水管理総合計画に基づき、浸水被害軽減を図ります。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲西有田公民館

● 景観

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園等、山林緑地等の自然環境の保全を推進します。

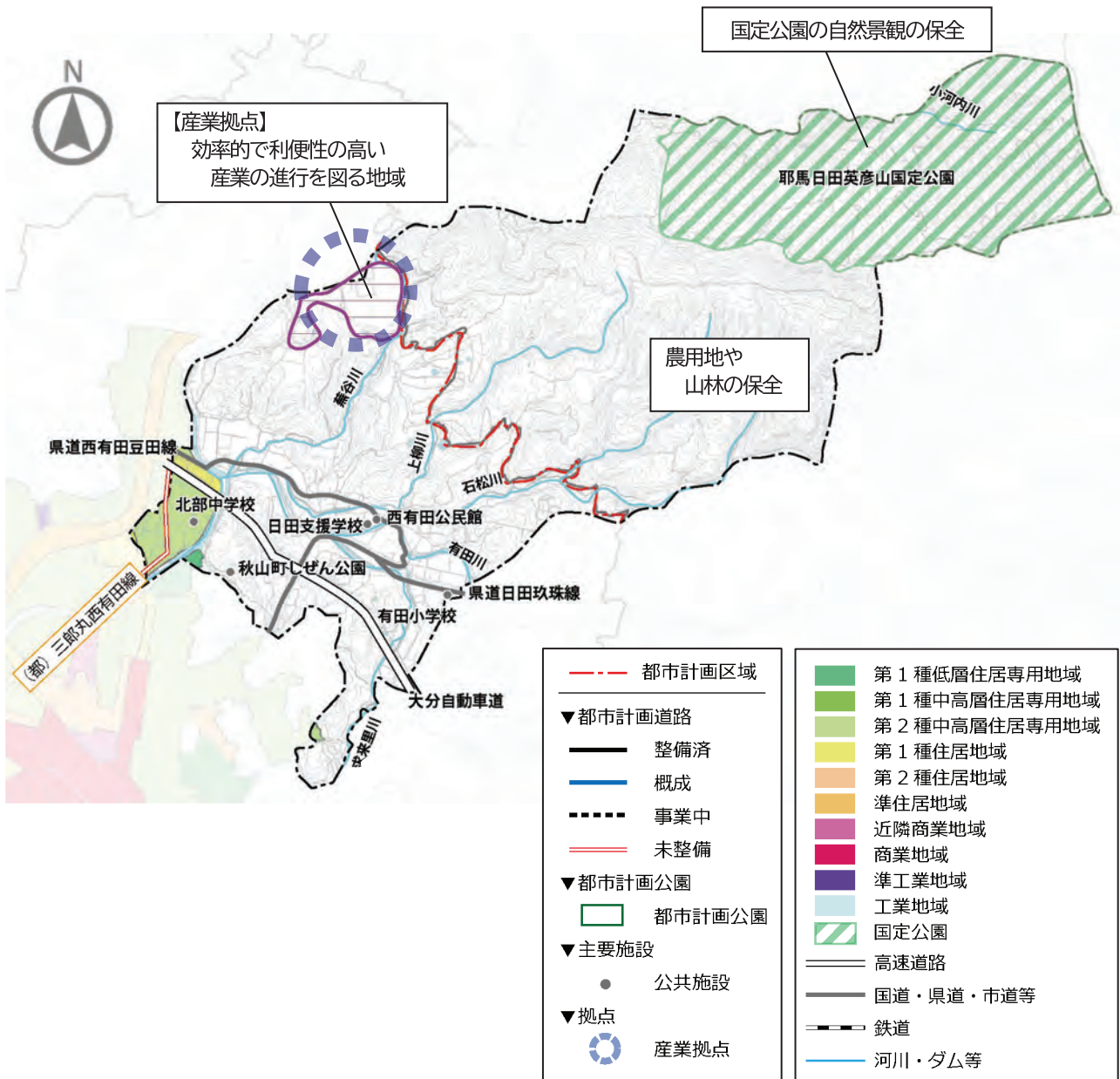
● 防災

- ◆ 花月川や有田川等の氾濫等に対する河川整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。



▲夕田橋

西有田地区の方針図



⑫ 東有田地区

(1) 地区の概況

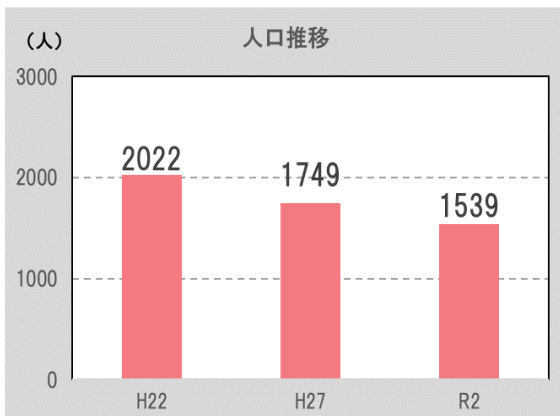
● 位置・地勢

- ◆ 地区東部にある700m級の一尺八寸山や月出山岳周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定されており、谷あいからは有田川等が地区を横断するように流れています。
- ◆ 地区西部には、大規模な工場団地として整備したウッドコンビナートがあります。

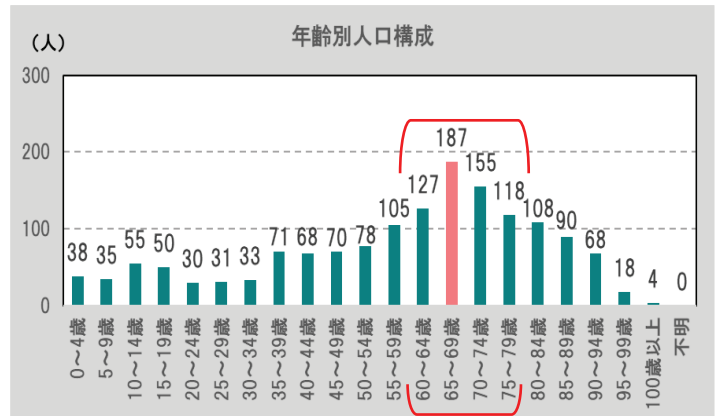


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約480人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代後半の人口が比較的多くなっています。



出典: 国勢調査(H22・H27・R2)



出典: 国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路周辺には、農用地や集落地があり、大規模な土地利用が図られているウッドコンビナートは、木材産業の拠点を形成しています。
- ◆ 地区西部の一部が都市計画区域に指定され、用途地域は指定のない地域となっています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。



▲ウッドコンビナート

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として、県道日田玖珠線、県道白地日田線・県道戸畑日田線の3路線が配置されています。
- ◆ 山間部から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲県道日田玖珠線

● 公園緑地

- ◆ 公園は、ウッド平島公園や平島神田公園などが整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽の設置による排水処理となっています。
- ◆ 有田川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館(振興センター)等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 有田川等に沿って整備された農用地や集落地と背景となる山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園の区域内では、山林緑地が東部に広がっており、豊かな自然景観を形成しています。



▲里山景観

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う有田川等の氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境を保全するため、無秩序な土地開発の抑制に努めます
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植林等により、循環型の森林づくりを推進します。



▲農用地の広がり

● 交通 体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能の維持に努めます。

● 公園 緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲ウッド平島公園

● 都市 施設

- ◆ 上水道等の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を促進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲有田小学校

● 景 観

- ◆ 有田川周辺の農用地や集落地等と背景となる山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。
- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や山林緑地等の自然景観の保全を推進します。

● 防 災

- ◆ 花月川や有田川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

東有田地区の方針図

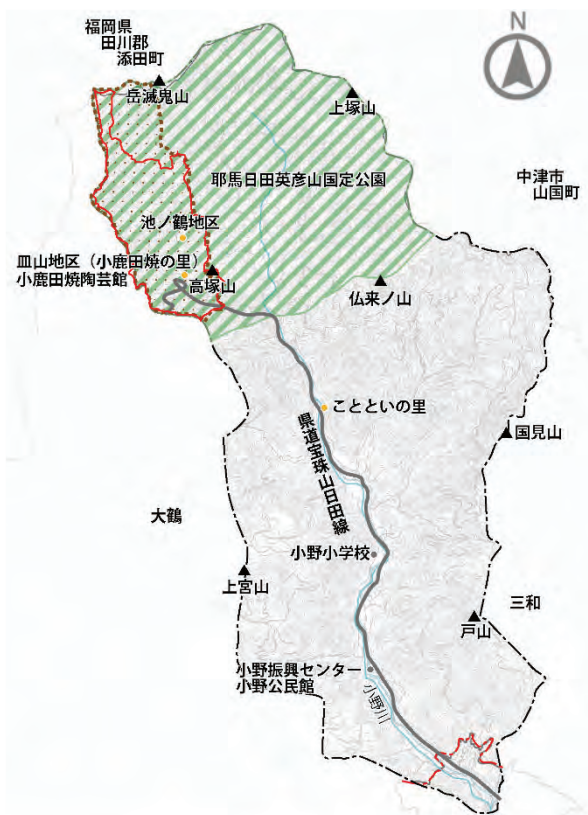


⑬ 小野地区

(1) 地区の概況

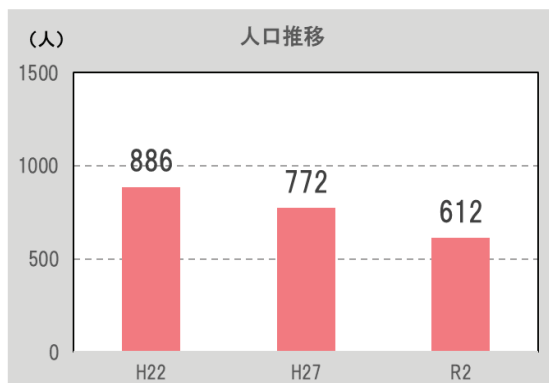
● 位置・地勢

- ◆ 市の最北端に位置し、北側を福岡県、東側が中津市に隣接しています。
- ◆ 地区北部の一部が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けており、小野川と県道宝珠山日田線が並行している周辺には田園地帯が形成されています。
- ◆ 北部の山間には、作陶の伝統を300年以上に渡って受け継いできた「小鹿田焼の里」があり、窯業や農業といった生業に基づく集落地を形成しています。



● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約270人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 地区の大部分は、山林緑地や農用地等が広がり、小野川や県道宝珠山日田線に沿って連続した農用地や集落地があり、林業関係施設等が立地しています。
- ◆ 地区南部の一部が都市計画区域に指定され、用途地域は指定のない地域となっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として、地区を縦断する県道宝珠山日田線が配置されています。
- ◆ 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲県道宝珠山日田線

● 公園緑地

- ◆ 地区北部の岳滅鬼山周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 清らかな河川を利用したプールや休憩所等の機能がある施設があります。



▲ことといの里 小野川自然プール

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽による生活排水処理となっています。
- ◆ 小野川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小学校や公民館(振興センター)等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 皿山・池ノ鶴地区は、日田市景観条例に基づく「小鹿田焼の里景観形成重点地区」に指定しています。
- ◆ 皿山・池ノ鶴地区は、国の「重要文化的景観」の選定を受けています。
- ◆ 小野川沿いの農用地や集落地等の背景となる山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。



▲小鹿田焼の里 唐臼

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う小野川等の氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 公民館等を活用した地域活動が、地区住民の交流につながっています。

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 持続可能なまちづくりに向けて、地域の実情を踏まえながら、社会基盤等を維持するため、適切な土地利用を推進します。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



▲市道 下小竹下林線

● 公園緑地

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の保全を推進します。



▲山間の集落地(小野谷)

● 都市施設

- ◆ 上水道等の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川等の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。

● 景観

- ◆ 小野川沿いに広がる農用地や集落地と背景の山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

● 防災

- ◆ 小野川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

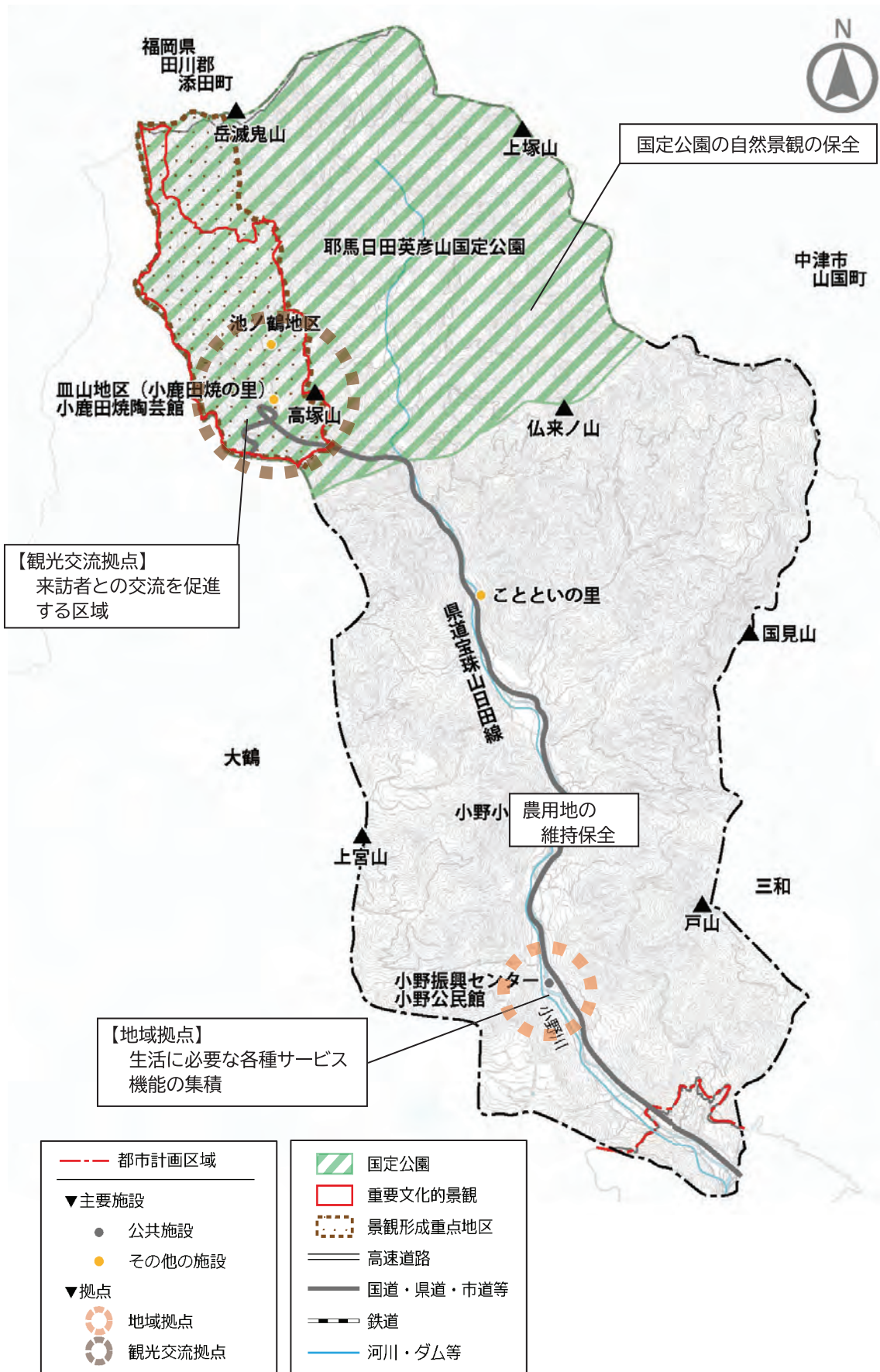
● その他

- ◆ 既存施設を活かした地域交流の活性化を推進します。



▲小野公民館

小野地区の方針図



⑭ 大鶴地区

(1) 地区の概況

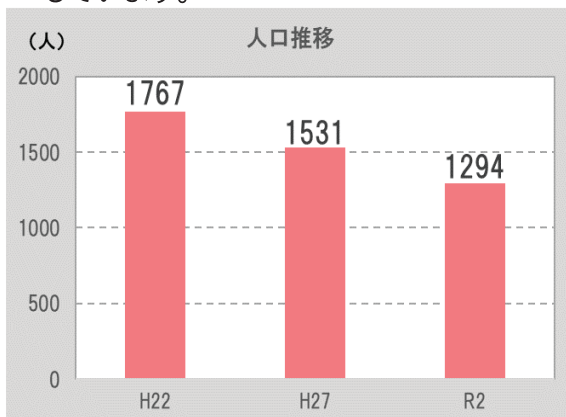
● 位置・地勢

- ◆ 市の北部に位置し、福岡県と隣接しています。
- ◆ 地区北部の一部が耶馬日田英彦山国立公園の指定を受けており、農用地や山林緑地が広がっています。
- ◆ 国道211号が通過し、鶴河内川と大肥川が地区を縦断するように流れています。

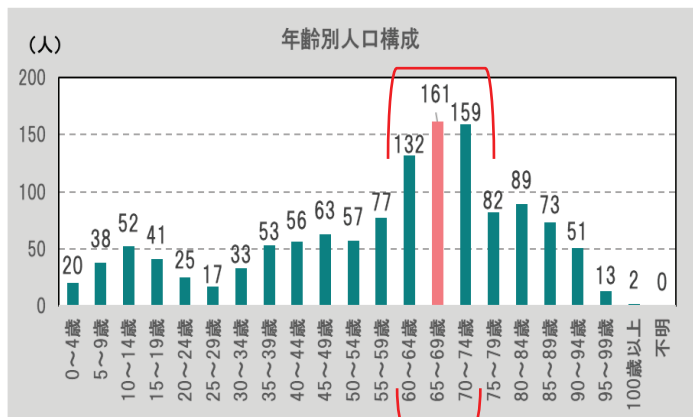


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約470人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代前半の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、連続した農用地や集落地があり、林業関係施設等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道211号・県道和田大鶴停車場線・県道大鶴熊取線・県道宝珠山日田線が配置されています。
- ◆ 山間部から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。
- ◆ 「平成29年7月 九州北部豪雨」により被災したJR日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間について、令和5年8月からBRT(バス高速輸送システム)が運行されています。



▲国道211号

● 公園緑地

- ◆ 地区北部の岳滅鬼山周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 田ノ原公園や大鶴スポーツ広場が整備されています。



▲大鶴スポーツ広場

● 都市施設

- ◆ 公共の水道供給施設は整備されていません。
- ◆ 農業集落排水や合併処理浄化槽の設置による排水処理となっています。
- ◆ 大肥川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 小中学校や公民館(振興センター)等の公共施設等が立地しています。



▲大明小中学校

● 景観

- ◆ 大肥川や鶴河内川に沿って整備された農用地や集落地等の背景となる山なみと一体なって、良好な里山景観を形成しています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う大肥川等の氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



▲鶴河内川

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通 体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ BRT等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



▲中崎橋

● 公園 緑地

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の保全を推進します。
- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲田ノ原公園

● 都市 施設

- ◆ 農業集落排水の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、農業集落排水の向上に努め、農業集落排水の区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川等の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲大鶴公民館(大鶴振興センター)

● 景 観

- ◆ 大肥川や鶴河内川沿いに広がる農用地や集落地と背景の山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

● 防 災

- ◆ 大肥川等の氾濫に対する河川整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策の促進に努めます。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。



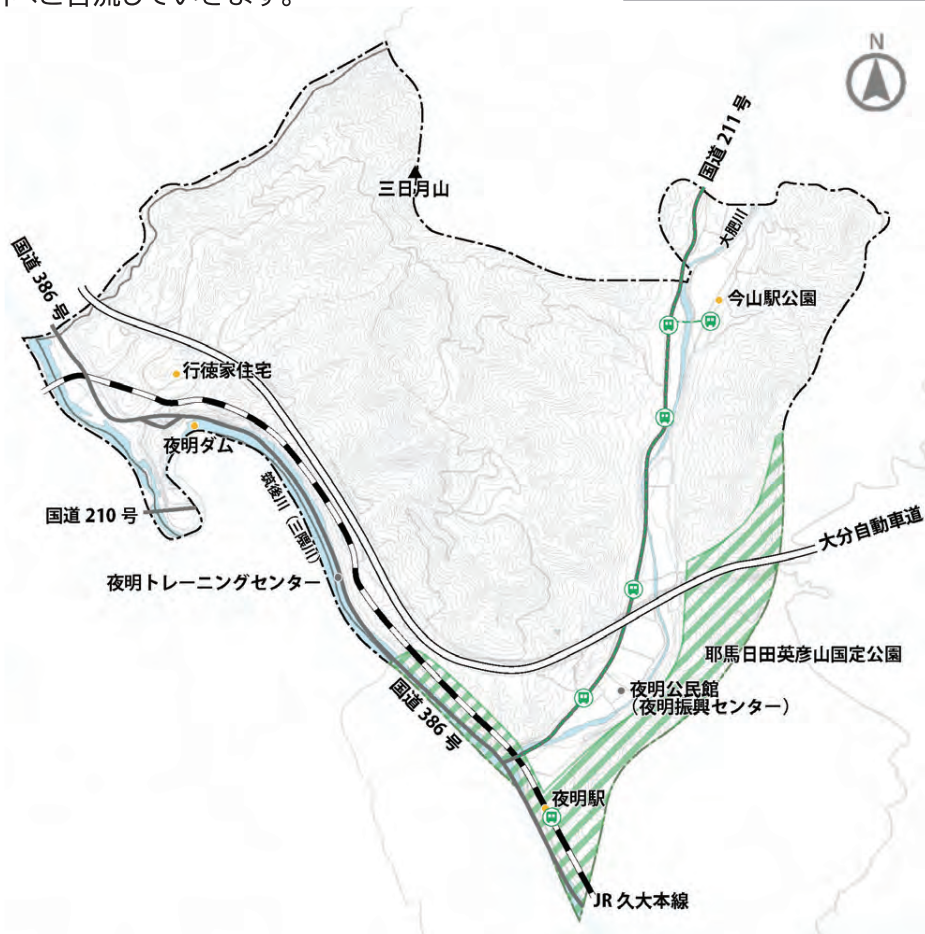
▲大肥川

⑮ 夜明地区

(1) 地区の概況

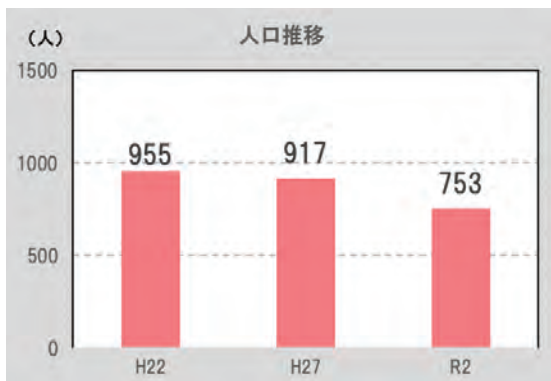
● 位置・地勢

- ◆ 市の西部に位置し、福岡県と隣接しています。
- ◆ 地区南部の一部が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けており、農用地や山林緑地が広がっています。
- ◆ 国道211号・国道386号が通過し、地区を流れる大肥川は、筑後川へと合流していきます。

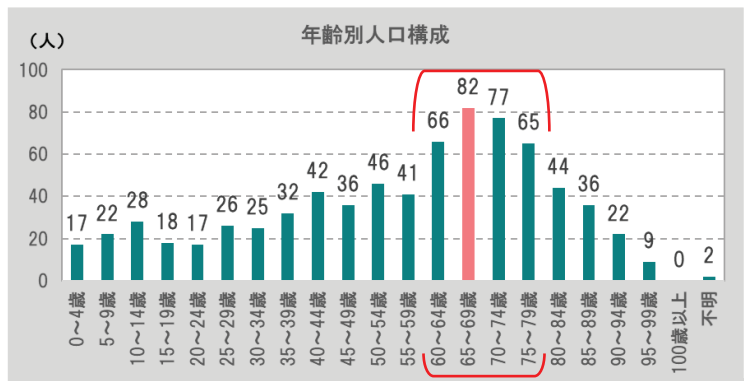


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約200人減少しています。
- ◆ 60歳代から70歳代の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、連続した農用地や集落があり、工場等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。



▲農用地

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として、国道211号・国道386号が配置されています。
- ◆ 山間部から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。
- ◆ 「平成29年7月 九州北部豪雨」により被災した日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間について、令和5年8月からBRT(バス高速輸送システム)が運行されています。

● 公園緑地

- ◆ 地区南部の筑後川沿いや大肥川沿いの山林緑地が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 今山駅公園の整備により、イベントや祭り、交流の場としても活用されています。



▲今山駅公園

● 都市施設

- ◆ 上水道が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 農業集落排水や合併処理浄化槽の設置による排水処理となっています。
- ◆ 大肥川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 公民館(振興センター)等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 大肥川に沿って整備された農用地や集落等の背景となる山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う大肥川等の氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 河川の水面を活用したスポーツ振興が図られています。



▲ボート競技の練習

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ BRT等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



▲JR夜明駅

● 公園緑地

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の保全を推進します。
- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲今山駅公園(鉄道敷跡)

● 都市施設

- ◆ 上水道及び農業集落排水の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、農業集落排水の水洗化の向上に努め、農業集落排水の区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲夜明公民館(夜明振興センター)

● 景観

- ◆ 大肥川に広がる農用地や集落と背景の山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

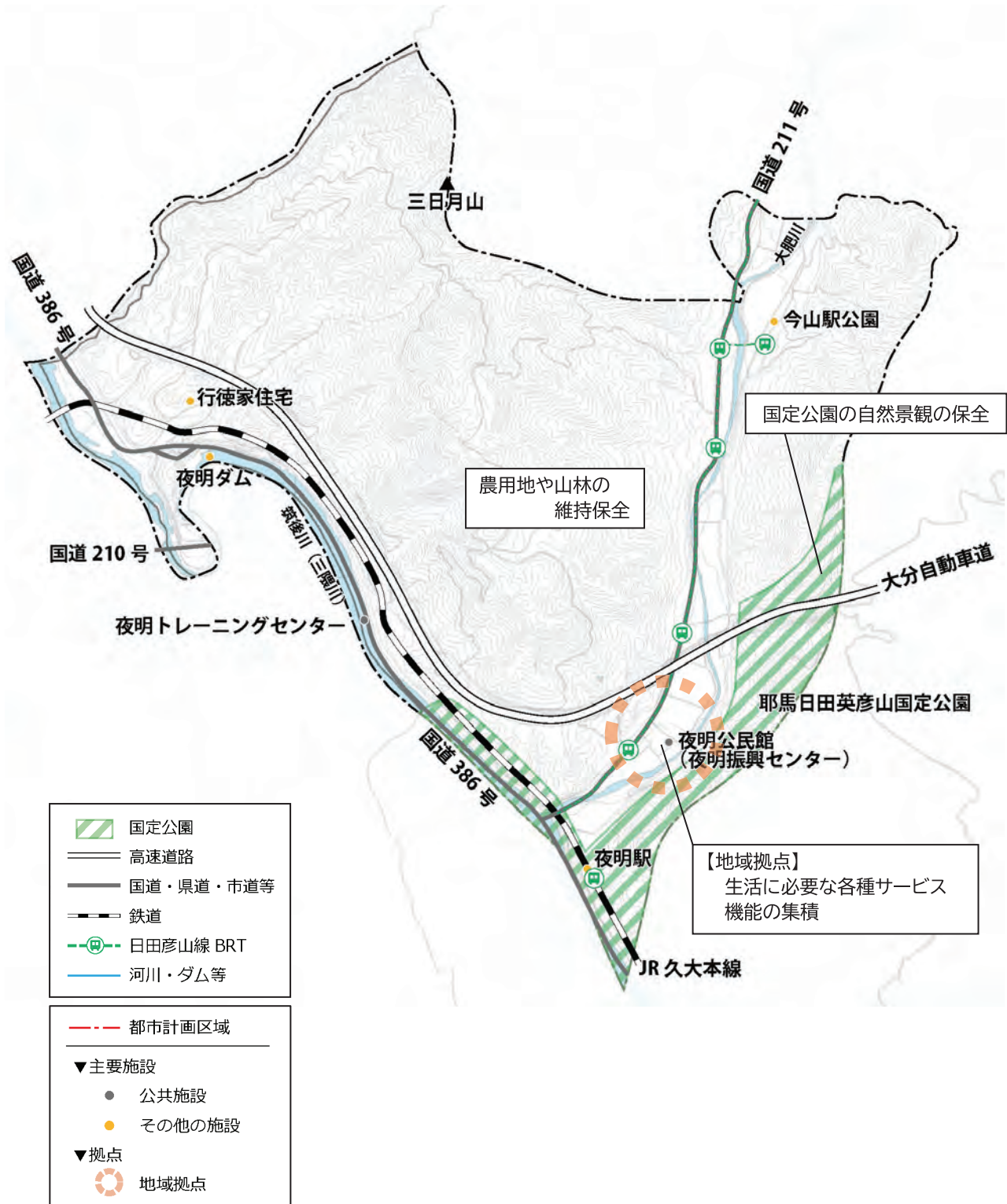
● 防災

- ◆ 大肥川等の氾濫に対する治水環境整備の促進や災害危険箇所等の情報収集による災害防止対策を推進します。
- ◆ 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その他

- ◆ 河川周辺の管理・保全や河川水面の有効活用を推進します。

夜明地区の方針図



16 前津江地区

(1) 地区の概況

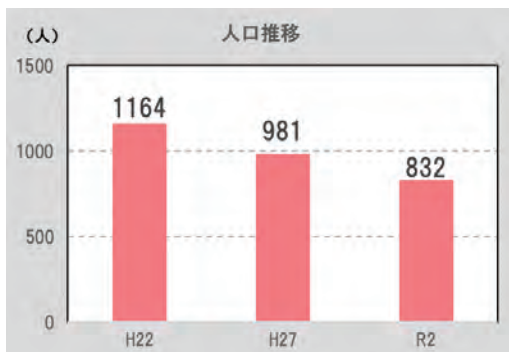
● 位置・地勢

- ◆ 市の南西部に位置し、福岡県に隣接しています。
- ◆ 標高約500～1,200m級の山々に囲まれた中山間地域で、地域全体が急峻な地形となっています。
- ◆ 豊かな自然環境に育まれた水は、筑後川水系の源流をなし、福岡都市圏の貴重な水源となっています。

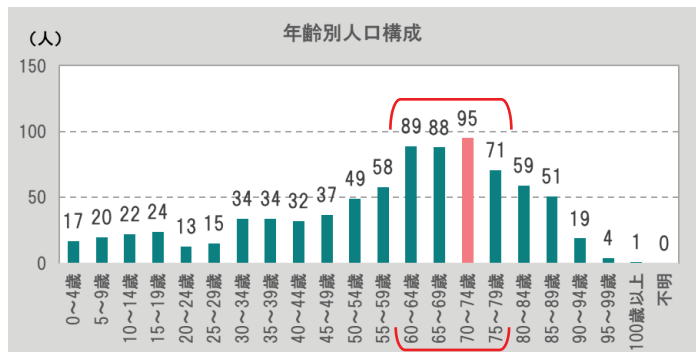


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して約330人減少しています。
- ◆ 60歳から70歳代の人口が比較的多くなっています。



出典: 国勢調査(H22・H27・R2)



出典: 国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、集落地や小売店舗、工場等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、農用地や山林緑地が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として県道日田鹿本線・県道朝田日田線・県道小畑日田線・県道前津江星野線・県道西大山大野日田線が配置されています。
- ◆ 山間集落から市街地に通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲県道日田鹿本線

● 公園緑地

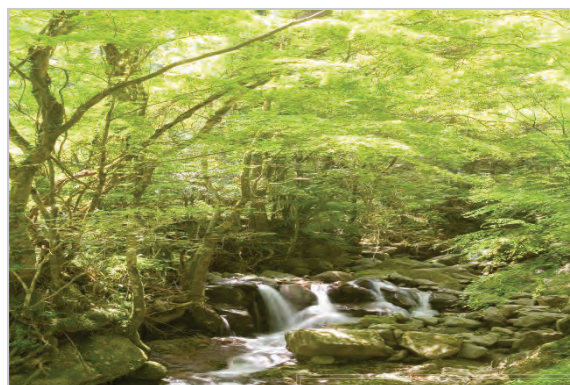
- ◆ 地区の大半が、津江山系県立自然公園に指定されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽の設置による生活排水処理となっています。
- ◆ 赤石川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 振興局や福祉施設等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった良好な景観を形成しています。
- ◆ シオジを中心とした広葉樹の原生林が分布し、豊かな自然景観を有しています。



▲シオジ原生林

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫や土砂災害により、山間地に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 「椿ヶ鼻ハイランドパーク」は、キャンプやアウトドアを通じて自然とふれあい、交流の場となる体験型観光拠点として活用されています。



▲椿ヶ鼻ハイランドパーク

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能の維持に努めます。

● 公園緑地

- ◆ 津江山系県立自然公園や山林緑地等の自然環境の保全を推進します。



▲ 釈迦岳

▲ 御前岳

● 都市施設

- ◆ 上水道等の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲ 前津江振興局

● 景観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった景観の保全を推進します。



▲ 大野地区

● 防災

- ◆ 水害や土砂災害等に対する整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- ◆ 既存施設を活用した観光・交流の活性化を推進します。



▲ 前津江町地域活性化センター

前津江地区の方針図

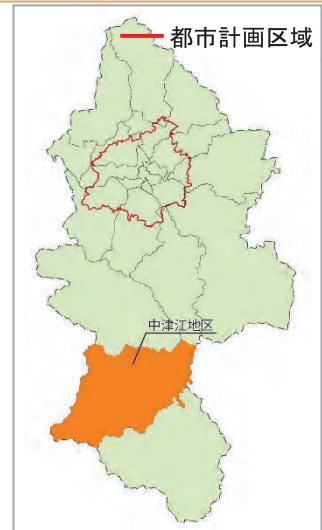


17 中津江地区

(1) 地区の概況

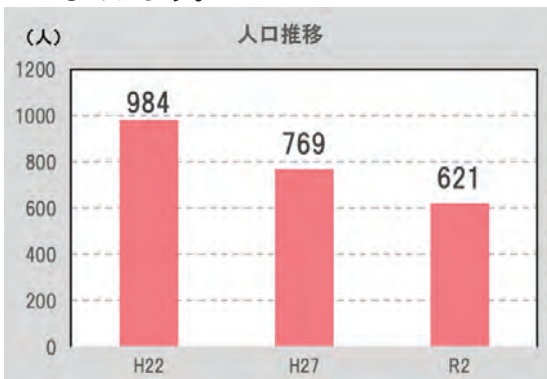
● 位置・地勢

- ◆ 市の南部に位置し、福岡県と熊本県に隣接しています。
- ◆ 地区は、酒呑童子山や渡神岳等の山々に囲まれ、津江川や鯛生川など多くの清流が下釜ダムに流れ込み「蜂の巣湖」を形成しています。
- ◆ 中山間地域特有の急峻な地形を有し、スギやヒノキの木材生産地として、林業が基幹産業となっています。

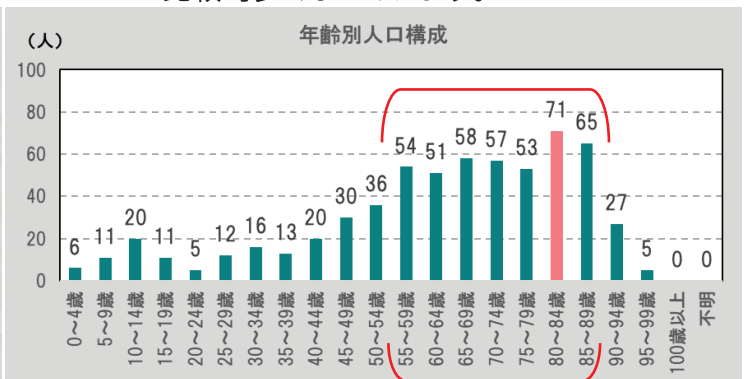


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約360人減少しています。
- ◆ 50歳代後半から80歳代後半の人口が比較的多くなっています。



出典：国勢調査(H22・H27・R2)



出典：国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、集落地や小売店舗、医療施設等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道387号・国道442号・県道日田鹿本線・県道天瀬阿蘇線・県道栃野西大山線・県道鯛生菊池線が配置されています。
- ◆ 山間集落から通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲県道天瀬阿蘇線

● 公園緑地

- ◆ 地区の大部分を占める山林緑地が、津江山系県立自然公園に指定されています。
- ◆ 下笠公園や栃原公園、市ノ瀬公園が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設及び飲用井戸施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽による生活排水処理となっています。
- ◆ 津江川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 振興局や児童福祉施設等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 下笠ダムの「蜂の巣湖」周辺は、背後の山々と一体となった美しい水辺の景観を形成しています。
- ◆ 宮園津江神社のスギと自然林や伝来寺庭園は、自然を有した文化資源として大分県の指定を受けています。



▲宮園津江神社

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫や土砂災害により、山間地に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 道の駅や宿泊施設等を有する「鯛生金山」やスポーツ・レクリエーション施設である「鯛生スポーツセンター」等の観光・交流施設を有しています。



▲鯛生スポーツセンター

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通 体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ デマンドバス等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



▲国道442号

● 公園 緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都市 施設

- ◆ 上水道等の維持管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。

▼津江高齢者生活福祉センター



▲つえっ子こども園

● 景 観

- ◆ 津江山系県立自然公園や山林緑地等の自然景観の保全を推進します。



▲蜂の巣湖

● 防 災

- ◆ 水害や土砂災害等に対する整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- ◆ 既存施設を活用した観光・交流の活性化を推進します。



▲鯛生金山

中津江地区の方針図



(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、集落地や小売店舗、林業関係施設等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道387号・県道天瀬阿蘇線・県道南小国上津江線・県道上野田黒淵線・県道川原上野田線が配置されています。
- ◆ 山間集落から通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲国道387号

● 公園緑地

- ◆ 地区西部の山林緑地は、津江山系県立自然公園に指定されています。
- ◆ 多目的広場として、広川運動広場と上野田スポーツ広場が整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設及び飲用井戸施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽による生活排水処理となっています。
- ◆ 川原川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 振興局や診療所等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった良好な景観を形成しています。
- ◆ 酒吞童子山や尾ノ岳をはじめとする山なみや清流が流れる峡谷状の自然景観を有しています。



▲酒吞童子山

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫や土砂災害により、山間地に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 道の駅や国際規格コースを持つモータースポーツ施設の「オートポリス」や自然の渓谷を活用したアウトドア施設「奥日田フィッシングパーク」等の観光・交流施設を有しています。



▲オートポリス

(3) 地区の方針

● 土地 利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交 通 体 系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ デマンドバス等の公共交通機関の機能の維持に努めます。

● 公 園 緑 地

- ◆ 津江山系県立自然公園や山林緑地等の自然環境の保全を推進します。
- ◆ 既存広場の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都 市 施 設

- ◆ 上水道等の維持管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲上津江振興局

● 景 観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった景観の保全を推進します。



▲しらくさ郷

● 防 災

- ◆ 水害や土砂災害等に対する整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● そ の 他

- ◆ 既存施設を活用した観光・交流の活性化を推進します。



▲奥日田フィッシングパーク

上津江地区の方針図

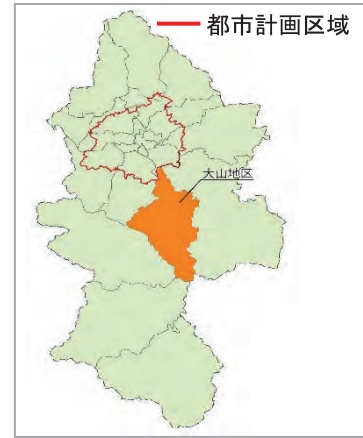


19 大山地区

(1) 地区の概況

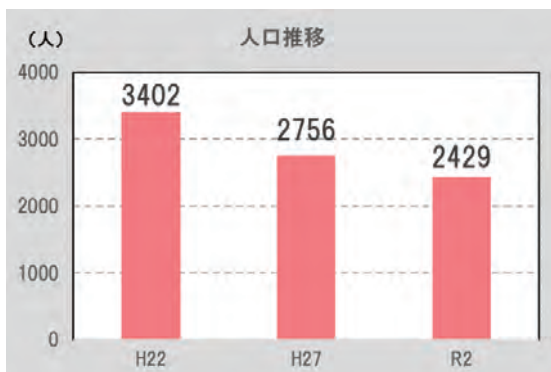
● 位置・地勢

- ◆ 市の南部に位置し、熊本県とも隣接しています。
- ◆ 地区の大半は農用地や山林緑地が広がり、急峻なひびき溪谷の谷間を大山川が筑後川(三隈川)へと流れていきます。
- ◆ 農業が主要な産業であり、全国に先駆けて少量多品目栽培等の地域資源を活用した取組が進められています。

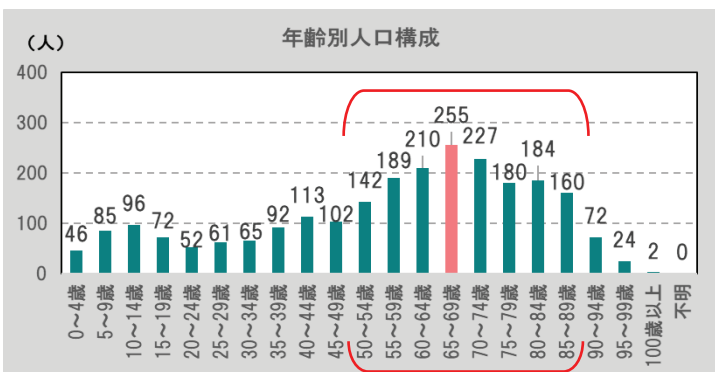


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約970人減少しています。
- ◆ 50歳代から80歳代の人口が比較的多くなっています。



出典:国勢調査(H22・H27・R2)



出典:国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、集落地や小売店舗、農業関係施設等が立地しています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地等が広がっています。

● 交通体系

- ◆ 主要な幹線道路として国道212号・県道日田鹿本線・県道西大山大野日田線・県道栃野西大山線が配置されています。
- ◆ 山間集落から通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲国道212号(ひびきトンネル)

● 公園緑地

- ◆ 大山川に沿って、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- ◆ 公園は、田来原美しい森づくり公園や西峰スポーツ公園などが整備されています。

● 都市施設

- ◆ 上水道が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 特定環境保全公共下水道や合併処理浄化槽による生活排水処理となっています。
- ◆ 大山川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。
- ◆ 振興局や小中学校等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった良好な景観を形成しています。
- ◆ 地区の特産品である梅を栽培している梅園をはじめ、松原ダムやひびき溪谷などの自然景観を有しています。



▲おおくぼ台梅園

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う河川等の氾濫や土砂災害により、山間地に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 道の駅や奥日田温泉うめひびき等の観光・交流施設が立地しています。



▲奥日田温泉うめひびき

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、計画的な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能の維持に努めます。

● 公園緑地

- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲田来原美しい森づくり公園

● 都市施設

- ◆ 上水道及び下水道の適切な維持管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の水洗化の向上に努め、特定環境保全下水道の区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。



▲大山小中学校

● 景観

- ◆ 集落等と背景となる山なみが一体となった景観の保全を推進します。



▲清和橋

● 防災

- ◆ 水害や土砂災害等に対する整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- ◆ 災害発生時の避難経路確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

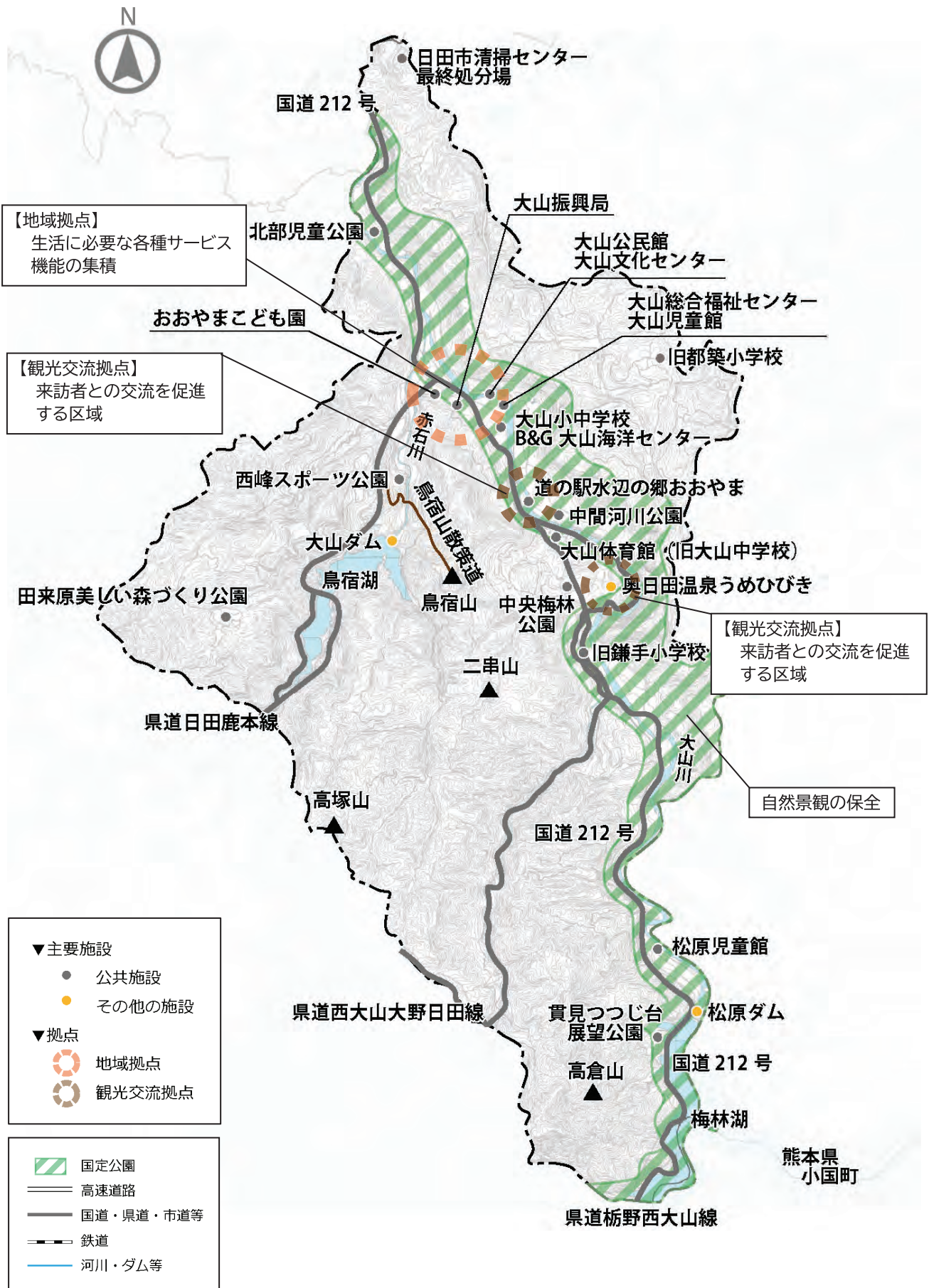
● その他

- ◆ 既存施設を活用した観光・交流の活性化を推進します。



▲道の駅「水辺の郷おおやま」

大山地区の方針図



第1章
第2章
第3章
第4章 地区別構想
第5章
資料編

② 天瀬地区

(1) 地区の概況

● 位置・地勢

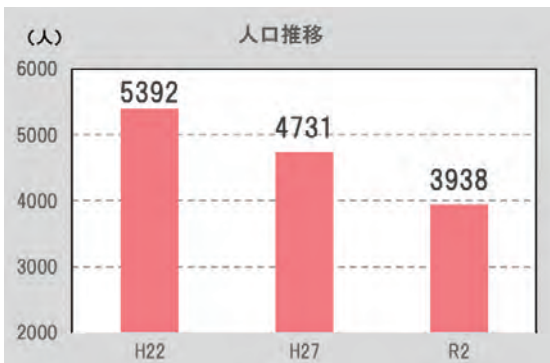
- ◆ 市の東部に位置し、玖珠町や熊本県とも隣接しています。
- ◆ 筑後川上流の玖珠川の谷部と、その北東部や南部に向かって次第に高くなる山地、玖珠川の西部と南部の平坦な台地など起伏が大きな地形を形成しています。
- ◆ 別府・湯布院とともに豊後三大温泉に数えられる天ヶ瀬温泉や九州有数の参拝者を誇る高塚愛宕地蔵尊、慈恩の滝や桜滝等の豊かな自然など、多くの地域資源を有しています。

— 都市計画区域

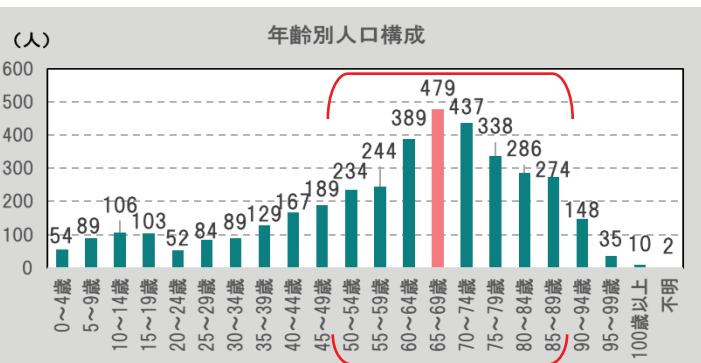


● 人口の動向

- ◆ 平成22年と比較して、約1,450人減少しています。
- ◆ 50歳代から80歳代の人口が比較的多くなっています。



出典: 国勢調査(H22・H27・R2)



出典: 国勢調査(R2)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- ◆ 幹線道路等の周辺には、集落地や小売店舗、農業・林業関係施設等が立地し、ゴルフ場等の大規模な土地利用が行われています。
- ◆ 地区の大部分は、山林緑地や農用地が広がっています。

● 交通体系

- ◆ JR久大本線の天ヶ瀬駅・豊後中川駅等は、市中心部や周辺地域、隣接する都市を結ぶ交通ルートを形成しています。
- ◆ 主要な幹線道路として国道210号・国道212号・県道天瀬阿蘇線・県道玖珠天瀬線・県道戸畑日田線・県道岩戸五馬日田線・県道菅原山浦線が配置されています。
- ◆ 山間集落から通じる交通機能の低下が懸念されます。



▲JR豊後中川駅

● 公園緑地

- ◆ 玖珠川の周辺に耶馬日田英彦山国定公園、南部の山林緑地には、津江山系県立自然公園の指定が行われています。
- ◆ 公園として天瀬総合運動公園や桜滝公園などが整備されています。



▲天瀬総合運動公園

● 都市施設

- ◆ 上水道や給水施設が整備されていますが、一部の地域は給水区域外となっています。
- ◆ 地域全体が合併処理浄化槽による生活排水処理となっています。
- ◆ 振興局や社会福祉施設等の公共施設が立地しています。

● 景観

- ◆ 玖珠川の兩岸に建ち並ぶ旅館を中心とする天ヶ瀬温泉街が、風情ある景観を生み出しています。



▲天ヶ瀬温泉街

● 防災

- ◆ 豪雨に伴う玖珠川等の氾濫や土砂災害により、山間地に点在する集落の孤立が懸念されます。
- ◆ 災害発生時の避難場所や避難行動の周知、日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- ◆ 高塚愛宕地蔵尊や天ヶ瀬温泉街等の観光・交流を促す地域資源を有しています。



▲高塚愛宕地蔵尊

(3) 地区の方針

● 土地利用

- ◆ 良好な環境保全を図るため、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- ◆ 山林の保全を図るため、適正な伐採や植樹等により、循環型の森林づくりを推進します。

● 交通体系

- ◆ 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- ◆ 乗合デマンドタクシー等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



▲スカイファームロード

● 公園緑地

- ◆ 耶馬日田英彦山国定公園や津江山系県立自然公園の保全を推進します。
- ◆ 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



▲桜滝公園(桜滝ふれあい広場)

● 都市施設

- ◆ 上水道等の適切な維持管理と計画的な更新に努めます。
- ◆ 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ◆ 地区内にある公共施設の機能維持を図ります。

● 景観

- ◆ 特徴的な地形を有する断崖と滝など、自然景観の保全を推進します。



▲桜滝

● 防災

- ◆ 玖珠川等の氾濫に対する河川整備や災害危険箇所等の災害防止対策を推進します。
- ◆ 災害発生時の避難経路確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- ◆ 玖珠川改修により変化する天ヶ瀬温泉街における観光・交流の活性化を推進します。



▲新天瀬橋

天瀬地区の方針図

